



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(令和3年6月調査分)

《景気の現状判断DI》

	令和3年3月	令和3年6月	前回調査比
茨城県	46.1	47.3	+1.2
県北地域	40.6	47.8	+7.2
県央地域	50.4	45.4	△5.0
鹿行地域	42.7	46.1	+3.4
県南地域	52.2	50.9	△1.3
県西地域	44.4	46.1	+1.7

《景気の先行き判断DI》

	令和3年3月	令和3年6月	前回調査比
茨城県	52.7	56.0	+3.3
県北地域	46.9	52.6	+5.7
県央地域	58.9	57.5	△1.4
鹿行地域	53.4	55.2	+1.8
県南地域	53.6	59.9	+6.3
県西地域	50.5	54.7	+4.2

令和3年7月

茨城県政策企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	24
3	その他の意見	34

問い合わせ先
茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632
公式サイトのURL
<https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、大子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

業 種 名	具 体 例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業、建設業、金融業等	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	291 人	97.0%
県北地域	60 人	57 人	95.0%
県央地域	60 人	60 人	100.0%
鹿行地域	60 人	58 人	96.7%
県南地域	60 人	58 人	96.7%
県西地域	60 人	58 人	96.7%

4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

5 調査月及び調査期間

調査月は6月、9月、12月及び3月の年4回である。令和3年6月調査の調査期間は、令和3年6月5日から20日までである。

6 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方性（景気が上向きか下向きか）をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じて、景気の方性をみるための指標(DI)を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例
回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は、

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、
(1点×15.0%) + (0.75点×27.0%) + (0.5点×25.0%) + (0.25点×11.0%)
+ (0点×22.0%) = 50.5となる。

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は50(=0.5点×100%)となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、50を下回っているときは、景気の下局面にあるといえる。

Ⅱ 調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは47.3となった。令和3年3月調査（以下「前回調査」という。）より1.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を11期連続で下回った。

表1-1 景気の現状判断DI

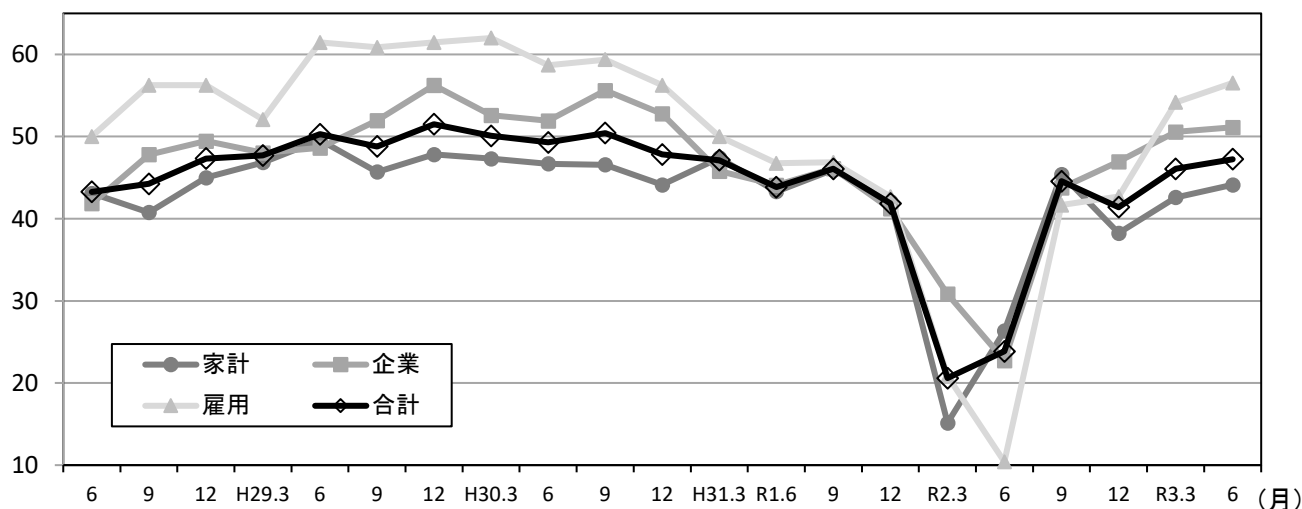
分野	調査年月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
合計		23.8	44.6	41.4	46.1	47.3
家計動向関連		26.3	45.4	38.2	42.6	44.1
小売関連		35.2	42.1	42.9	41.7	38.7
飲食関連		17.5	47.4	31.0	28.9	42.7
サービス関連		19.7	49.0	36.8	45.9	49.7
住宅関連		39.3	35.7	31.3	53.1	44.4
企業動向関連		22.8	43.8	46.9	50.6	51.1
農林水産業		21.4	33.3	37.5	50.0	54.2
製造業		24.0	47.4	48.5	51.6	49.5
非製造業		21.3	40.4	46.4	49.2	52.9
雇用関連		10.4	41.7	42.7	54.2	56.5

表1-2 回答構成比

	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
良くなっている	3.2%	3.2%	5.3%	2.1%	4.5%
やや良くなっている	12.5%	26.7%	16.7%	26.1%	23.4%
変わらない	11.4%	29.9%	30.9%	38.6%	39.9%
やや悪くなっている	22.4%	25.6%	32.6%	20.4%	21.3%
悪くなっている	50.5%	14.6%	14.5%	12.9%	11.0%

図1-1 景気の現状判断DIの推移

(DI)



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは56.0となった。前回調査より3.3ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

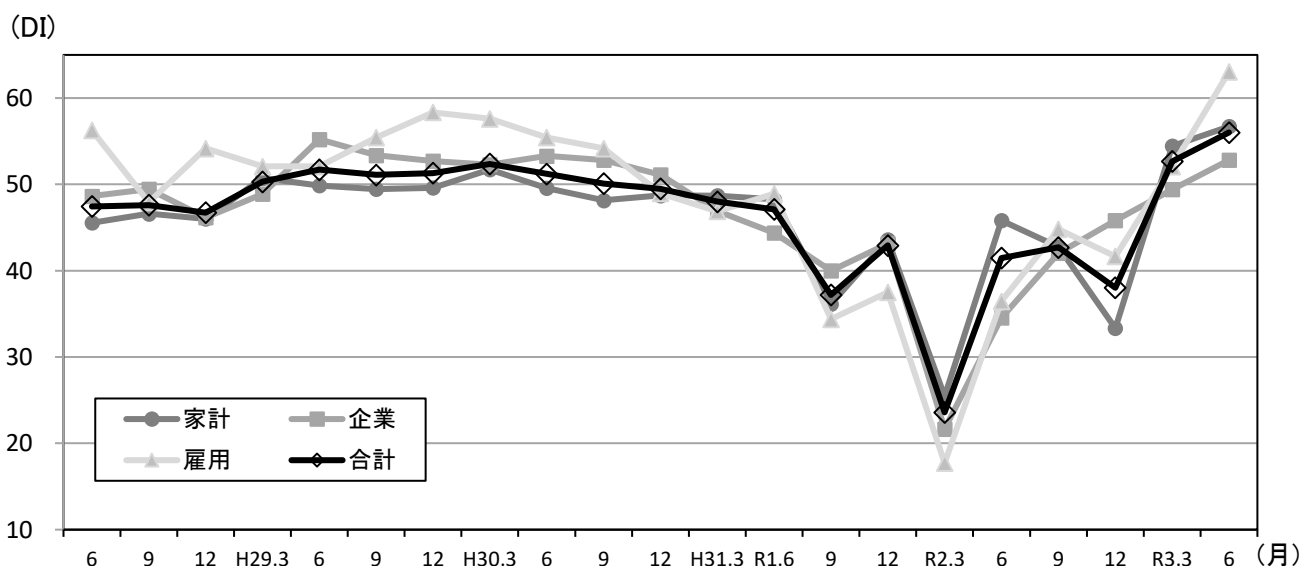
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
合計		41.5	42.7	38.0	52.7	56.0
家計動向関連		45.8	42.8	33.3	54.4	56.7
小売関連		43.6	41.8	35.4	51.4	52.1
飲食関連		57.5	44.7	28.6	55.3	58.3
サービス関連		45.7	44.5	31.9	57.2	63.7
住宅関連		35.7	28.6	40.6	53.1	30.6
企業動向関連		34.6	42.0	45.8	49.4	52.8
農林水産業		35.7	37.5	50.0	53.6	50.0
製造業		38.5	43.8	47.4	46.8	53.1
非製造業		28.7	40.4	42.9	52.3	52.9
雇用関連		36.5	44.8	41.7	52.1	63.0

表1-4 回答構成比

	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
良くなっている	2.8%	2.5%	1.1%	4.3%	6.2%
やや良くなっている	26.3%	17.1%	12.4%	29.6%	35.7%
変わらない	27.8%	42.7%	40.8%	45.0%	40.5%
やや悪くなっている	19.9%	24.2%	29.1%	14.6%	11.0%
悪くなっている	23.1%	13.5%	16.7%	6.4%	6.5%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは47.8となった。前回調査より7.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を11期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

調査年月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
分野					
合計	24.6	43.3	44.9	40.6	47.8
家計動向関連	22.9	46.3	42.7	40.9	45.7
企業動向関連	28.9	40.3	51.3	40.8	52.6
雇用関連	18.8	31.3	31.3	37.5	41.7

表2-2 回答構成比

	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
良くなっている	3.4%	3.6%	7.4%	1.8%	7.0%
やや良くなっている	13.6%	28.6%	22.2%	16.1%	22.8%
変わらない	8.5%	23.2%	24.1%	41.1%	31.6%
やや悪くなっている	27.1%	26.8%	35.2%	25.0%	31.6%
悪くなっている	47.5%	17.9%	11.1%	16.1%	7.0%

② 県央地域

景気の現状判断DIは45.4となった。前回調査より5.0ポイント低下して、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

調査年月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
分野					
合計	16.8	45.6	38.8	50.4	45.4
家計動向関連	21.4	50.0	38.8	52.1	44.2
企業動向関連	6.7	41.7	45.0	51.7	46.9
雇用関連	15.0	25.0	20.0	35.0	50.0

表2-4 回答構成比

	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
良くなっている	3.6%	3.5%	5.2%	3.6%	3.3%
やや良くなっている	9.1%	29.8%	15.5%	30.4%	20.0%
変わらない	3.6%	31.6%	25.9%	42.9%	46.7%
やや悪くなっている	18.2%	15.8%	36.2%	10.7%	15.0%
悪くなっている	65.5%	19.3%	17.2%	12.5%	15.0%

③ 鹿行地域

景気の現状判断D Iは46.1となった。前回調査より3.4ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を12期連続で下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

調査年月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
分野					
合計	24.6	45.6	44.9	42.7	46.1
家計動向関連	30.9	47.1	42.9	35.0	41.4
企業動向関連	18.4	45.8	47.4	54.2	51.4
雇用関連	5.0	35.0	50.0	55.0	60.0

表2-6 回答構成比

	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
良くなっている	3.4%	1.8%	3.4%	0.0%	3.4%
やや良くなっている	12.1%	26.3%	18.6%	22.4%	25.9%
変わらない	12.1%	29.8%	37.3%	37.9%	29.3%
やや悪くなっている	24.1%	36.8%	35.6%	27.6%	34.5%
悪くなっている	48.3%	5.3%	5.1%	12.1%	6.9%

② 県南地域

景気の現状判断D Iは50.9となった。前回調査より1.3ポイント低下したものの、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-7 景気の現状判断DI

調査年月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
分野					
合計	26.4	42.5	39.7	52.2	50.9
家計動向関連	28.2	39.4	34.6	48.5	51.4
企業動向関連	27.9	46.1	46.1	54.2	48.6
雇用関連	10.0	50.0	50.0	70.0	55.0

表2-8 回答構成比

	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
良くなっている	3.8%	3.5%	6.9%	5.4%	6.9%
やや良くなっている	9.4%	24.6%	10.3%	30.4%	20.7%
変わらない	18.9%	28.1%	34.5%	42.9%	51.7%
やや悪くなっている	24.5%	26.3%	31.0%	10.7%	10.3%
悪くなっている	43.4%	17.5%	17.2%	10.7%	10.3%

③ 県西地域

景気の現状判断DIは46.1となった。前回調査より1.7ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を29期連続で下回った。

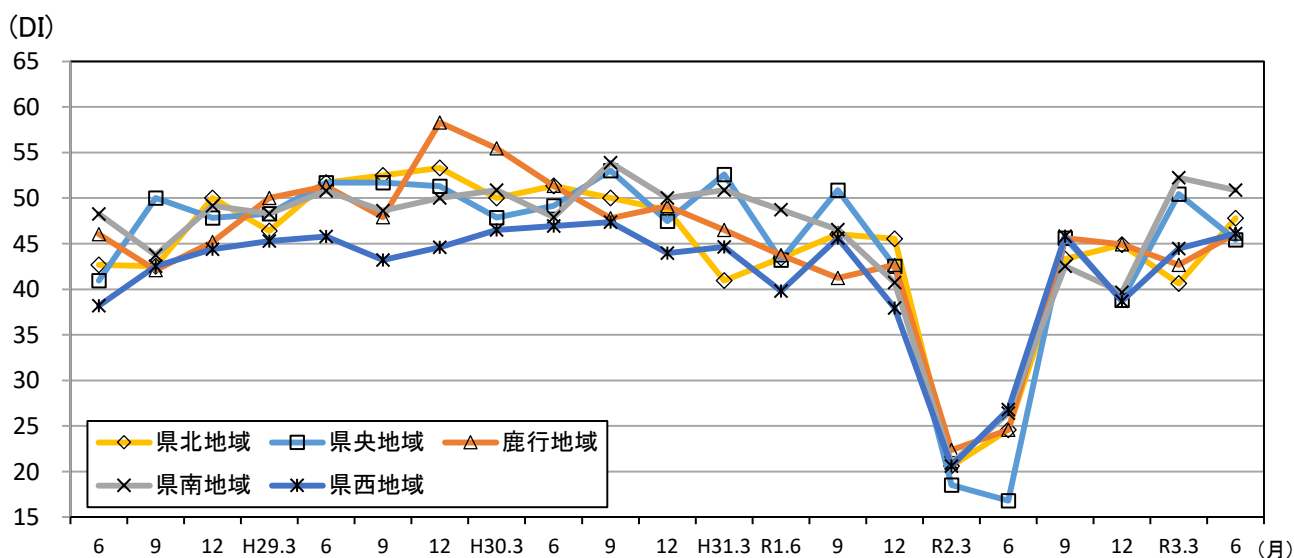
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
合計		26.8	45.8	38.7	44.4	46.1
家計動向関連		28.9	43.5	31.7	35.9	37.9
企業動向関連		28.9	44.4	44.4	52.9	55.6
雇用関連		5.0	65.0	60.0	70.0	70.0

表2-10 回答構成比

	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
良くなっている	1.8%	3.7%	3.8%	0.0%	1.7%
やや良くなっている	17.9%	24.1%	17.0%	31.5%	27.6%
変わらない	14.3%	37.0%	32.1%	27.8%	39.7%
やや悪くなっている	17.9%	22.2%	24.5%	27.8%	15.5%
悪くなっている	48.2%	13.0%	22.6%	13.0%	15.5%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



	H28.6	H28.9	H28.12	H29.3	H29.6	H29.9	H29.12	H30.3	H30.6	H30.9	H30.12	H31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9	R2.12	R3.3月	R3.6月
県全体	43.3	44.2	47.3	47.7	50.3	48.8	51.5	50.1	49.3	50.4	47.8	47.1	43.8	46.1	41.9	20.6	23.8	44.6	41.4	46.1	47.3
県北	42.7	42.5	50.0	46.4	51.7	52.5	53.3	50.0	51.3	50.0	48.7	40.9	43.4	46.1	45.5	20.6	24.6	43.3	44.9	40.8	47.8
県央	40.9	50.0	47.8	48.3	51.7	51.7	51.3	47.9	49.2	53.0	47.5	52.6	43.2	50.9	42.5	18.5	16.8	45.6	38.8	50.5	45.4
鹿行	46.1	42.1	45.2	50.0	51.3	47.9	58.3	55.5	51.3	47.8	49.1	46.5	43.8	41.2	42.7	22.4	24.6	45.6	44.9	42.7	46.1
県南	48.3	43.8	49.2	48.3	50.8	48.6	50.0	50.9	47.9	53.9	50.0	50.9	48.7	46.6	40.7	20.9	26.4	42.5	39.7	52.2	50.9
県西	38.2	42.5	44.4	45.3	45.8	43.2	44.6	46.5	46.9	47.4	44.0	44.6	39.8	45.6	37.9	20.6	26.8	45.8	38.7	44.4	46.1
全国	42.3 41.2	45.9 44.8	49.3 51.2	48.9 50.6	51.2 49.9	50.3 49.6	51.8 53.9	50.2 51.7	49.8 48.2	47.1 47.3	45.5 48.2	45.5 46.7	45.1 43.3	44.9 45.7	38.3 40.7	14.9 15.9	40.0 38.0	47.8 48.7	34.3 36.5	49.0 49.5	47.6(季節調整値) 45.4(原数値)

(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは52.6となった。前回調査より5.7ポイント上昇して、横ばいを表す50を10期ぶりに上回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

調査年月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
分野					
合計	38.1	40.2	36.1	46.9	52.6
家計動向関連	40.3	38.2	31.5	50.8	55.0
企業動向関連	34.2	43.1	44.7	40.8	50.0
雇用関連	37.5	43.8	31.3	43.8	41.7

表2-12 回答構成比

	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
良くなっている	3.4%	1.8%	3.7%	0.0%	5.3%
やや良くなっている	20.3%	10.7%	9.3%	28.6%	29.8%
変わらない	28.8%	42.9%	35.2%	39.3%	43.9%
やや悪くなっている	20.3%	35.7%	31.5%	23.2%	12.3%
悪くなっている	27.1%	8.9%	20.4%	8.9%	8.8%

② 県央地域

景気の先行き判断DIは57.5となった。前回調査より1.4ポイント低下したものの、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

調査年月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
分野					
合計	45.5	46.1	39.7	58.9	57.5
家計動向関連	56.4	50.0	38.8	64.6	57.1
企業動向関連	25.0	40.0	45.0	53.3	57.8
雇用関連	30.0	35.0	30.0	35.0	60.0

表2-14 回答構成比

	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
良くなっている	5.5%	0.0%	0.0%	1.8%	5.0%
やや良くなっている	32.7%	29.8%	17.2%	46.4%	43.3%
変わらない	25.5%	38.6%	41.4%	41.1%	36.7%
やや悪くなっている	10.9%	17.5%	24.1%	7.1%	6.7%
悪くなっている	25.5%	14.0%	17.2%	3.6%	8.3%

③ 鹿行地域

景気の先行き判断D Iは55.2となった。前回調査より1.8ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

調査年月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
分野					
合計	37.5	46.1	37.7	53.4	55.2
家計動向関連	41.9	44.9	31.4	51.4	53.6
企業動向関連	32.9	48.6	46.1	56.9	54.2
雇用関連	25.0	45.0	50.0	55.0	70.0

表2-16 回答構成比

	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
良くなっている	0.0%	3.5%	0.0%	3.4%	1.7%
やや良くなっている	22.4%	15.8%	15.3%	25.9%	37.9%
変わらない	27.6%	49.1%	37.3%	51.7%	41.4%
やや悪くなっている	27.6%	24.6%	30.5%	19.0%	17.2%
悪くなっている	22.4%	7.0%	16.9%	0.0%	1.7%

② 県南地域

景気の先行き判断D Iは59.9となった。前回調査より6.3ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

調査年月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
分野					
合計	42.5	39.5	38.4	53.6	59.9
家計動向関連	45.2	37.9	34.6	53.8	62.9
企業動向関連	36.8	38.2	44.7	50.0	52.8
雇用関連	45.0	55.0	40.0	65.0	65.0

表2-18 回答構成比

	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
良くなっている	5.7%	5.3%	1.7%	10.7%	12.1%
やや良くなっている	26.4%	15.8%	6.9%	23.2%	32.8%
変わらない	26.4%	35.1%	44.8%	42.9%	41.4%
やや悪くなっている	15.1%	19.3%	36.2%	16.1%	10.3%
悪くなっている	26.4%	24.6%	10.3%	7.1%	3.4%

③ 県西地域

景気の先行き判断DIは54.7となった。前回調査より4.2ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

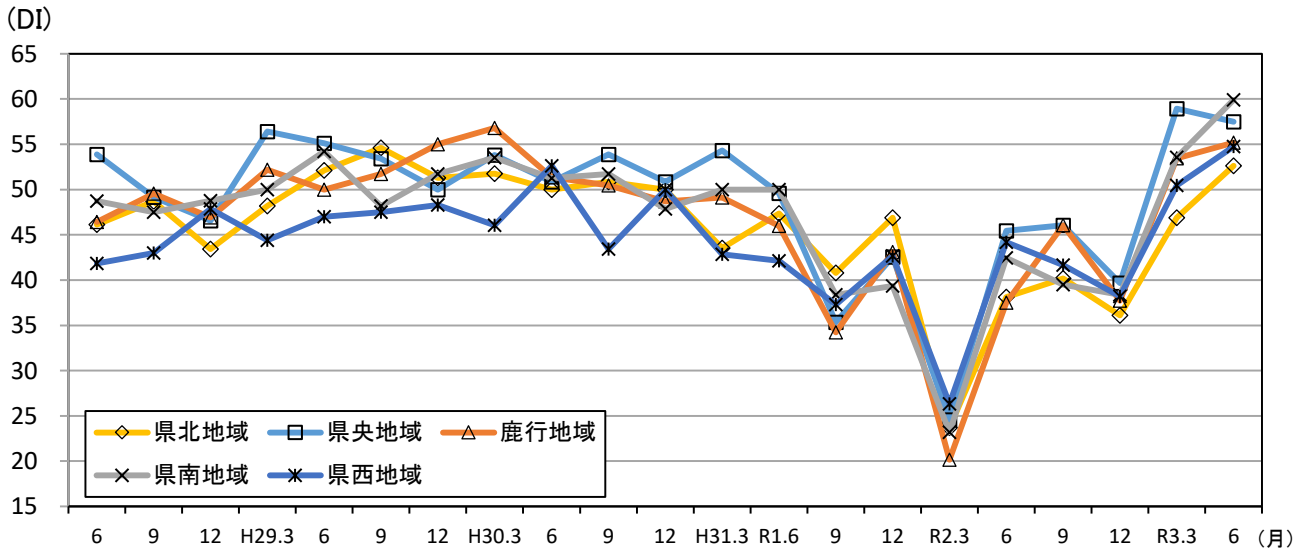
表2-19 景気の先行き判断DI

調査年月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
分野					
合計	44.2	41.7	38.2	50.5	54.7
家計動向関連	45.3	41.9	29.2	50.8	55.0
企業動向関連	42.1	40.3	48.6	47.1	50.0
雇用関連	45.0	45.0	55.0	60.0	70.0

表2-20 回答構成比

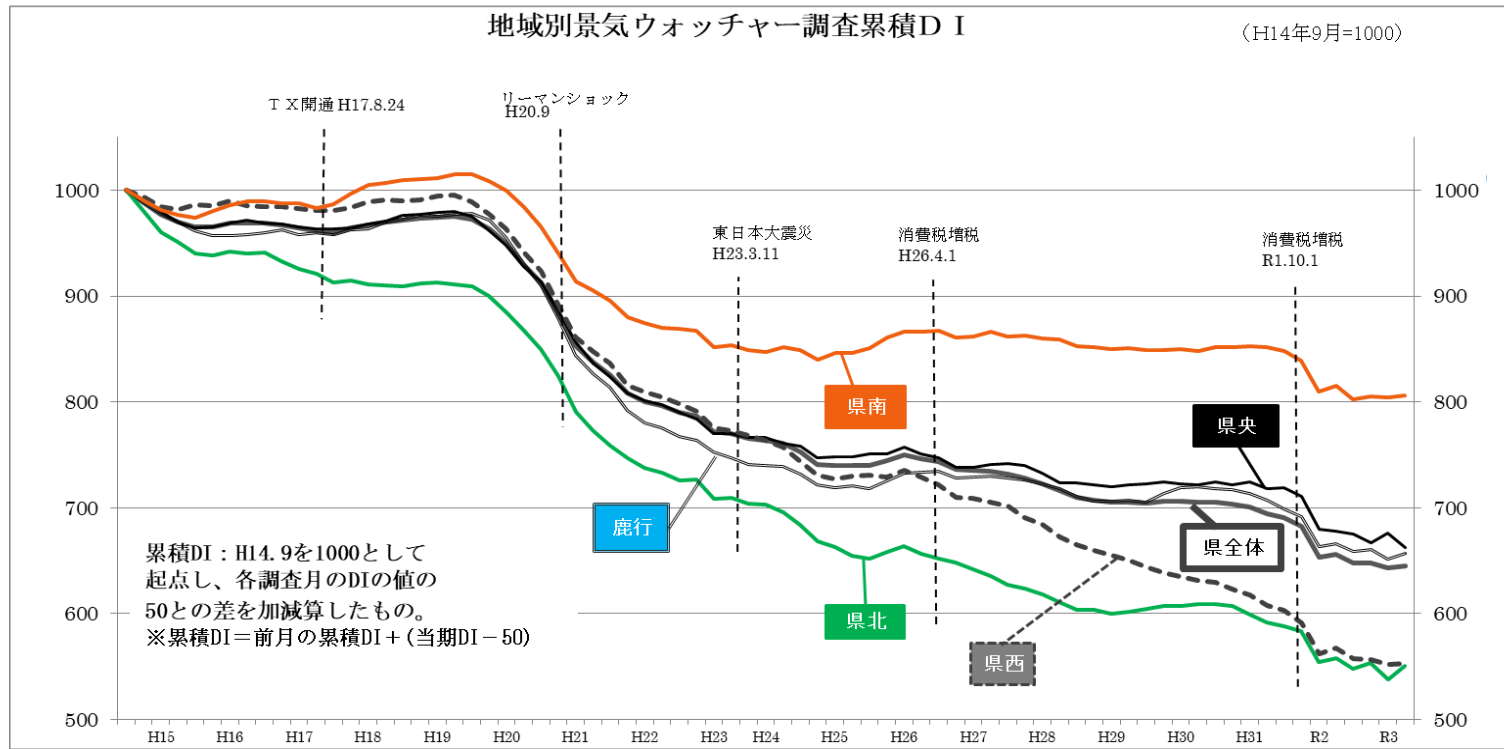
	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
良くなっている	0.0%	1.9%	0.0%	5.6%	6.9%
やや良くなっている	30.4%	13.0%	13.2%	24.1%	34.5%
変わらない	30.4%	48.1%	45.3%	50.0%	39.7%
やや悪くなっている	25.0%	24.1%	22.6%	7.4%	8.6%
悪くなっている	14.3%	13.0%	18.9%	13.0%	10.3%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



	H28.6	H28.9	H28.12	H29.3	H29.6	H29.9	H29.12	H30.3	H30.6	H30.9	H30.12	H31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9	R2.12	R3.3月	R3.6月
県全体	47.5	47.6	46.7	50.3	51.7	51.1	51.3	52.4	51.2	50.1	49.5	48.0	47.1	37.2	42.9	23.6	41.5	42.7	38.0	52.7	56.0
県北	46.1	48.7	43.4	48.2	52.1	54.6	51.3	51.8	50.0	50.9	50.0	43.5	47.4	40.8	46.9	23.7	38.1	40.2	36.1	47.4	52.6
県央	53.9	49.2	46.6	56.4	55.1	53.4	50.0	53.8	50.8	53.9	50.8	54.3	49.6	35.3	42.5	24.6	45.5	46.1	39.7	58.6	57.5
鹿行	46.4	49.6	46.9	52.2	50.0	51.7	55.0	56.8	51.3	50.4	48.7	49.1	46.0	34.2	43.1	20.2	37.5	46.1	37.7	53.4	55.2
県南	48.7	47.5	48.8	50.0	54.2	48.2	51.7	53.5	51.3	51.7	47.8	50.0	50.0	38.4	39.4	23.2	42.5	39.5	38.4	53.6	59.9
県西	41.8	43.0	47.8	44.4	47.0	47.5	48.3	46.1	52.6	43.4	50.0	42.9	42.1	37.3	42.7	26.3	44.2	41.7	38.2	50.5	54.7
全国	40.7	49.4	49.8	49.3	50.8	51.0	51.8	50.7	50.5	51.1	47.3	48.9	46.0	36.8	44.6	19.8	44.6	47.1	36.1	49.8	52.4(季節調整値)
	41.5	48.5	49.0	49.0	51.5	50.4	51.3	50.1	50.9	50.7	47.0	47.9	46.3	36.7	44.5	18.7	44.8	47.1	36.1	48.6	52.6(原数値)

(参考) 地域別累積DI



III 景気の判断コメント — 1 景気の状態判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	ゴルフ場	3か月前は、新型コロナウイルスの影響で外出を抑えていた方が多かったために人の流れが少ない感じであったが、5月、6月で感染の影響を気にする方が少なくなった様子で人出が多い。ただし、前々年同月よりは悪い。
		ゴルフ場	4~6月の来場者は前年のコロナ禍危機を乗り越えた実績を活かし、対前年同期比145%と伸びている。ゴルファーの命、健康を守るスポーツの効能が再認識されてきた。
		住宅販売会社	建築需要が増えてきた。コロナ禍によりテレワークが増えたのと自宅で過ごす時間が増え住宅を建てる方が増えたと思う。
企業	林業関係者	ウッドショックにより木材需要のバランスが崩れ、素材、製品ともに品薄の状態。よって価格が高騰しているため、良くなっていると判断した。	
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	季節的な傾向で夏が良くなるため、やや良くなっていると判断した。
		小売業 (弁当・惣菜店)	今年初め、コロナの風評被害にあい売上げが極端に下った。しかしながら、その後順調に回復している。従業員が濃厚接触者となり営業を臨時休業とし、一日清掃などした。濃厚接触者は陰性だったので翌日から営業したが、SNSにコロナ感染者が出た模様と書き込まれてしばらくその影響が出てしまった。
		小売業 (時計)	客数は元々多い業種ではないが、少し増加している。
		日本料理店	2021年3月は都内は時短(アルコールの制限)もあり、水戸は梅まつりの時期でもあった。梅まつりをきっかけに、コロナ禍ではあるが、県外、県内の客が少しずつ増えているのは体感できた。客は感染を気にしながらだが、土日祝は通常時に戻りつつあると感じる。
		食堂	老若男女に関わらず来客数が1月と比べても増えている。当然売上げも増加している。
		タクシー運転手	以前よく利用されていた高齢の常連客が若干戻ってきており、ここ数日は1日の利用者数も増えてきている。
		レジャー施設	新型コロナウイルス感染者数が減少傾向にあるせいか、以前より人出が多く見られるため、やや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	当施設来場者数安定、夏以降の予約推移順調。但し、団体(コンペ)予約については減少傾向変わらずのため、やや良くなっていると判断した。
企業	製造業 (電気機械器具)	前年と比べ、受注額が増加している。	
	製造業 (化学工業)	受注量が少しずつ増えてきている。	
	製造業 (電気機械器具)	産業用ロボット関連及び家電関連で、注文数が増えている。	
	製造業 (精密機器)	全体的に数量が増えてきている。特に半導体向けが伸びている。また見積り依頼も多くなっている。	
	運輸業	顧客製品の出荷台数も増えて来ている。徐々に良くなって来ている状況である。	

変わらない	家計	酒・各種商品小売業	住んでる地区には自粛要請は出てないが、周辺の町に自粛要請が出ており、夜の人流がない。酒を飲みに行くことが悪いことになっているため、飲食店卸し中心の当店としては死活問題が続いている。	
		衣料品販売店	1年間最低の状態が続いている。今年も祭り、イベントの中止で変わらないだろう。	
		観光型ホテル	新型コロナウイルスの先行きが不透明なこともあり、来店客数は少ない。	
		旅行代理店	新型コロナウイルス感染拡大の第4波のなか、ツアー旅行が企画できない。企画しても集客できない状況に変化はない。	
		タクシー運転手	客の話を聞くと、上司から外での飲食を控えるよう厳しく言われているようで、飲食店での飲み会等ができない状態が続いているらしい。	
		写真店	まだ幾つかの仕事が、新型コロナウイルスの予防で変更や中止がある。	
	企業	製造業（電気機械器具）	液晶・半導体製造装置関連、自動車関連、エネルギー関連においても受注や引合いが少ない状況である。	
		製造業（食料品）	食品関係なので景気にはあまり左右されない。	
		製造業（一般機械器具）	状況が大きく変わっていない。	
		建設業	ある客の話では積極的な設備投資は当面控えるようだと聞いたので、あまり変化していないと感じる。	
		不動産業	不動産建築関係については、顧客の問い合わせ状況は変わりがないように感じる。	
		情報通信業（情報サービス業）	業界としては例年通り。	
		運輸業（精密機器運送）	ここ3か月での受注件数の変化はあまりなく、以前と比べて車両の稼働が増えている実感がない。	
雇用	公共職業安定所	有効求人倍率は1.10倍と、前月に比べ0.10ポイント下回ったが、14か月連続で下回っていた前年同月比は同率となった。有効求人数は前年同月比8.1%増と22か月ぶりに増加に転じたが、有効求職者を見てみると、前年同月比7.9%増と10か月連続で増加している。		
	求人開拓員	県北地区企業からの求人数が3か月前と変わらない。また、求職者においても特段変わった動きもみられない。		
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	先行きが不透明なためやや悪くなっていると判断した。	
		商店街代表者	昨年と比べると、問合せの電話、メールでの見積り依頼が減少している。	
		スーパー	来店客が特売日に集中しており、使う金額、個数が少なくなっている。また、購入商品の中身を見ても、本当に必要な商品が中心でムダな買い方は少なくなっている。嗜好品の売れ方が鈍いのも景気に左右されていると思われる。	
		スーパー	客は日に日に価格に対して敏感になってきている。購入点数も前年に比べると格段に減少している。スーパーにおいては高ければ買わない感じが顕著だ。	
		小売業（燃料）	売上高（販売量）は減少している。回復する様子はない。	
		小売業（酒類）	地元飲食店において新型コロナウイルスのクラスターが発生。得意先飲食店など利用客が大幅に減少した。	
		小売業（水産物）	集客数はほぼ横ばいだが、購入価格が平均して上がらない。安価な商品がよく売れる。	
		レストラン	新型コロナウイルスの影響によりやや悪くなっていると判断した。	
		日本料理店	家族連れや会社の同僚等複数人での来店が3か月前より少なくなっており、総来客数が減っている。企業や役所などの出前も、一か所あたりの注文数が減っている。昨年3月はまだ新型コロナウイルスの影響がなかった月なので、本年3月の売上げは前年マイナスだったが、それと比較しても今月のマイナスは大きいと思える。	
		観光型ホテル	首都圏の緊急事態宣言や蔓延防止宣言による宿泊件数の減少により、数値実績がダウンしている。	
		観光型ホテル	緊急事態宣言の発令により、旅行・外食・外出をすることを控える傾向が以前より強くなっている。家族・親戚、友人、職場の同僚などと一緒に旅行や会食に行くことが減ってきている影響で、組数の減少に加え、1組の客数自体も少人数化し、売上げの減少幅が大きくなっている。	
		タクシー運転手	飲食店に客がいない。	
		ドライブイン	いつものこの時期は天気さえ良ければ客足が伸びたのだが、ここ2～3週間は土日も控え気味な様子。3か月前の前年比を比べると売上げ、客数とも伸び率120%以上であったが、今期は前年比で100～99%となり、前年度と変わらないかやや落ちている。ワクチン接種の影響もあるのかと感じる。	
		ボウリング場	新型コロナウイルスの影響で客入りが半分。3か月前と比べても前年比ダウン。	
		企業	水産業関係者	仕事を通じて、景気が悪くなったと感じる事案が増えた。
			製造業（輸送用機械器具）	新型コロナウイルスに対応した第4波懸念、半導体供給不足、北米での寒波に伴う樹脂材料の逼迫等により、売上げ減少のリスク大。更に材料市況の高騰、高値継続が予測され依然として厳しい状況にあり予断を許さない状況。
金融業	飲食業・サービス業は依然低迷していることに加え、製造業は海外案件の停滞から引き続き受注減少している状況。また、建設業についても公共工事予算削減の動きから今後の受注見通し不透明な状況。			
雇用	求人広告	依然、コロナ関連による時短営業や休業が企業、求職者どちらの動きにも悪い方で影響が出ている。		

悪 く な っ て い る	家計	コンビニエンスストア	近隣企業のリストラやボーナス減少、リモート会議による移動の減少、居酒屋・スナックなど夜の街の閉店、納品業者の減少などのことから悪くなっていると判断した。
		スナック	新型コロナウイルスが長引き、ワクチン接種もまだほんの一部だから、悪くなっていると判断した。
		タクシー運転手	タクシー利用が減少したままで回復しない。事業所の利用は前々年の25%に落ち込んでいる。コロナ禍で不況が長引き、資金繰りが苦しい事業所が増えている。
	企業	製造業（食料品）	生産、出荷量共に減少している。

(2) 県央地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	割烹料理店	農業関係の客が増えた。
	企業	建設業	自治体が行っているリフォーム資金助成事業の申請手続きの受付が開始したため、景気が良くなってきていると判断する。
やや良くなっている	家計	レストラン	ワクチンの接種状況により、飲食店の利用者数が増えることが予想される。
		都市型ホテル	総会のシーズンになり、例年よりはかなり悪いが春季頃よりは若干回復している。
		バス運転手	飲食店の営業時間短縮措置がなくなったことにより、夜間の人の動きが少しではあるが増えている。
		タクシー会社	現状の乗降者数、運送収入の増減より判断して、多少増加が見られるが、水戸駅等の利用率が依然低迷している。
		道の駅	ワクチン接種が始まり、3月の時より客足が増えた感じがする。昨年の6月と比べると数字的には横ばいである。
		レジャー施設	3か月前は、まだまだコロナ禍の影響が強く、入場制限なしでも入場者があまり多くなかったが、最近は土日の入場者が多くなってきており、GWは入場制限をしないと密状態になってしまうような状況であった。
		レジャー施設	3か月前と比較し、施設の稼働率（船の出港隻数）が増え、それに伴い給油の件数や、船の修理の依頼も増えていることから景気が良くなっていると考えますが、一方で燃料の仕入れ値が値上がり傾向にあることから、景気はやや良くなっていると判断した。
		設計事務所	公共建築物の設計の発注時期でもあり、入札案件も多くなってきているが、民間での設備投資は引き合いも少ない状況である。
	企業	製造業（食料品）	昨年5月14日に緊急事態宣言が解除されてから人流があり、多少なりとも良くなっている。
		不動産業	コロナの状況はまだ続いてはいるが、新規事業を始めたいという客が増えてきている。しかしながら、外食産業関連は未だに動きがない状況が続いている。大型飲食店舗の契約が増えてくるようになれば、すごく回復していると思えるようになると考えている。
サービス業（コンサルタント業）		依頼が少しずつ増えてきている。	
雇用	人材派遣業	受注、売上げともやや増えてきている。	

変わらない	家計	商店街代表者	目だった変化は感じない。
		スーパー	5月は県の緊急事態宣言で大きく落ち込んだが、6月は解除を受けて少しずつ持ち直しているようだ。
		スーパー	高齢者のワクチン接種が進んでいるが、売上・来客数は横ばいの状況である。外出や旅行に行けない方が多く、衣料品やバッグ・靴などの販売が特に苦戦している。
		自動車販売店	ここ数か月、新規店頭来場者数や既存の来店客数、実績等ほぼ横ばい。
		農産物直売所	ギフト商品の売れ筋の価格帯が平年と変わらず、買上げ点数も変わらない。飲食部内は低迷のままだが、物販部門は前年並みとなっている。
		楽器販売	単価の大きな商品は多少動きがあるが、反面単価の小さな商品の来客数が鈍化しているように感じられる。
		レストラン	新型コロナウイルスのワクチン接種が始まっているが、高齢者からなのでまだまだ進んでいない状況で、人の動きはまだ鈍い。また、少人数での会食が中心なので客単価もさほど変わっていない。
		レストラン	県の独自対策により宴会場のキャンセルが多く、非常に厳しい状況が続く。
		都市型ホテル	緊急事態宣言含め、一都三県の動きがない事と社内の業績も平行線の状況であるため変わらないと判断した。
		旅行代理店	仕事は増えているが、収入に反映していない。
		タクシー運転手	現状は最悪の状態だ。3か月前と比べても売上げが変わらず苦しい状態が続いている。
		タクシー会社	18時以降の客が激減している状況と、水戸へ来る首都圏からの駅利用者が戻ってこない状況共に変化が見られず、売上げが落ち込んだままである。
		観光名所	家の周りは変化がなく、人があまり動いていない。
		スパ・銭湯	新型コロナウイルスの第4波を受けて、3か月前及び1年前の状況と同様に少ない入館状況となっており、景気としては全く変わっていないと判断する。
		理・美容店	6月は3か月前の3月と比べ、さほど変わらないように思う。6月に入って連日暑い日が続く、コロナ禍の中、自粛していた客も来店してくれることを期待したい。
	ペット美容室	春から夏後半にかけては季節要因もあり仕事量は変わらずだ。	
	設計事務所	3か月前と比較し現在仕事の受注は減少しているが、完了・収入のタイムラグがあり、景気状況は変わらないとした。	
	企業	農業関係者	コロナ禍とはいえ、農作業従事者を対象としているため変化なし。
		製造業(食料品)	新型コロナウイルスの影響が3か月前とほぼ同等。
		製造業(印刷・同関連業)	コロナ禍で客の動向が不透明で厳しい状況である。
製造業(金属製品)		以前より需要の低下による過剰な価格競争が常態化し、仕事量が少なく単価も安い二重苦の状況に変わりが無い。	
製造業(一般機械器具)		建設機械は忙しい、食品関連はよくなってきた。自動車は半導体不足で減産しているので下請けに出さないで内製している。	
建設業		変化の兆しを感じるが実感を得ない。	
運輸業(道路貨物運送業)		外食減に伴う主食米の余剰在庫増で低温倉庫は逼迫しているが、常温貨物の問合せは飲料などの季節的な商品に限られており、長期的な取引は見込めない。	
金融業		ウィズコロナとして各業種とも創意工夫しながら業を為していると感じるが、好転しているとは言えない。	
雇用		求人広告	新型コロナウイルスの影響が解消されない。
	公共職業安定所	新規求人数は対前年度比で5か月連続マイナス基調であるが、ここ2か月間、対前年度比はプラスとなっている。有効求人数は17か月連続マイナスであったが、ここにきて対前年度比はプラスに転じた。有効求人倍率は17か月連続マイナスが続いている。	
	求人開拓員	当センターにおける求人数、施設利用求職者数共に大きな変化は見られない。	
やや悪くなっている	家計	小売業	コロナ禍による感染拡大市町村宣言等の影響もあり、外出自粛、滞留時間の短縮化が見られる。特に高齢者にその傾向がある。
		スーパー	売上高の減少。
		スーパー	コロナ禍の影響で外出自粛、飲食店の営業時間短縮であったが、徐々に慣れや緩和で小売りの影響は薄らいできている。
		コンビニエンスストア	緊急事態宣言で昨年は児童などが自宅待機していた点で弁当などの販売が好調だったが、現在は低迷。また、緊急事態宣言があるものの児童の自宅待機ではなく内食ニーズの高まりでコンビニニーズが低下している。
		観光型ホテル	首都圏で「緊急事態宣言」や「まん延防止措置」が出されていることや、茨城県でも感染予防における要請もあるため、やや悪くなっていると判断した。
		観光名所	新型コロナウイルスの影響により来場者数が減少傾向であるため、3か月前と比較してやや悪くなっていると思う。
		スパ・銭湯	3か月前の第1、2週と比較して客数86%、売上げ86%となっており、やや悪くなっていると判断した。土日の客数は変わらないものの、平日の客数が下がっている。
企業	工務店	仕事の相談、見積り件数が減少気味。	
雇用	学校就業関係者	コロナ禍において、在学生のアルバイト先が不安定になるなど、経済的に困窮している学生が数多くいる。生活物資の支援策などを行っているが、未だ回復傾向には至っていない状況である。一方、学生採用を検討している企業の中には、コロナ禍において右肩上がりの業績となっている企業も数多く存在しているのも実態である。	

悪くなっている	家計	小売業	3か月前と比較して来店客数が明らかに減少している。
		小売業	前年実績対比では3か月前に比べ改善しているが、前年は緊急事態宣言下での一部休業による売上げ大幅減が影響している。一昨年実績での対比では悪化の傾向が出ている。長引くコロナ禍で入店客数の低迷が継続している。
		割烹料理店	5月の緊急事態宣言以降、顕著に客数が減少している。
		家電量販店	6月中旬までの売上げは3か月前と大体同じくらい。しかし、今年に入ってから の来店客数、電話での問合せ等が極端に少なくなっている。この現象は新型コロナウイルスが大きく影響していると思う。この状態が続くとオリンピックの テレビ放映に関連して、この機会に4K, 8Kテレビ放送を待ち望む我々も売上げ に大きく影響するだろう。
		小売業	客数、客単価ともに減少している。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	新型コロナウイルスのリスクがまだあるため、社会全体の動きが停滞している。
		製造業（窯業・土石製品）	見積り件数・受注が減少している。
		製造業（精密機械器具）	3か月前は弊社も含め多くの企業が年度決算月であり、弊社のエンドユーザー からも年度予算の関係から当月受注・当月出荷要望があり、受注、売上げは大き くアップした。今月はその影響を受け、売上げはそう悪くはないが半分程度 になった。

(3) 鹿行地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスが県内及び市内でも未だに拡大が続いており、感染（重症化）リスクを低減するワクチン接種にもまだかなりの時間がかかると思う。又、国・県等の施策についての来会及び問合せ数も引き続き多く、多数の事業者の方は、苦境な状況が長引いていると考えている。
	雇用	民間職業紹介業	企業からの業務依頼が増えており、景気が回復してきている感覚が強い。
やや良くなっている	家計	農産物直売所	新型コロナウイルスのワクチン普及で遠方からの客の来店が多くなった。
		小売業（菓子類）	新型コロナウイルスの新規感染者が減少して人の動きが活発化している。
		小売業（書店）	6月末日までの1か月、市のpaypay決裁で30%ポイントバックがある。
		道の駅	一般観光客の利用者が増えた。
		ゴルフ場	入場者数が増加している。客単価も持ち直している。
		クリーニング店	高齢者からワクチン接種が進んでいるので、人出（行動）も多くなってきている。
	企業	製造業（電気機械器具）	自動車業界は、全般的に新型コロナウイルスの影響や電子部品の調達困難などで、生産調整が余儀なくされてきたが、ここに来てやや受注が増えてきた。
		製造業（ゴム製品）	一部の客先からの注文が少し増えた。
		製造業（鉄鋼業）	経営環境が上向いている。
		製造業（金属製品）	新型コロナウイルスの状況もある程度安定化（生産対応）している。
		運輸業（道路貨物運送業）	乗務員が増えたとし、帰りの荷物がなく空車で返す事もなくなった。
		金融業	新型コロナウイルスの影響を受け、一部の業種（飲食業、観光業等）は依然として売上げが低迷しているものの、建設業を中心に受注が増えつつあると感じる。
	雇用	人材派遣業	新規での取引の問合せが季節要因を外しても増えてきている。
		公共職業安定所	新規求人数は増加に転じ回復傾向はみられるが、収入減等から新規求職者も増加している。今後は新型コロナウイルスのワクチン接種率の向上に左右される。
変わらない	家計	スーパー	3か月前の前年比と変化がないため、変わらないと判断した。
		コンビニエンスストア	緊急事態宣言もあり客数減、飲食店の営業時間も短くなっているから、変わらないと判断した。
		小売業（食品）	コロナ禍による緊急事態宣言で動きが悪い。
		小売業	引き続き、自粛生活の影響か。
		割烹料理店	最近になって、新型コロナウイルスの感染者が増えてきて時短営業になっているので、客足も少なく、良くなる要素がない。
		観光型ホテル	宿泊者の予約状況が伸びない。
		観光型ホテル	緊急事態宣言の延長が長引き、3か月前と比較しても客の予約状況にあまり変化が見られないことから、変わらないと考える。
		都市型ホテル	まだコロナウイルス感染拡大の影響を受けている。
	企業	ゴルフ場	ゴルフ場に於いては、このコロナ禍にあって密を避ける屋外スポーツという観点から人気が出て密かに来場者がやや増えている傾向にあるが単価は下落し続けている。新型コロナウイルスの影響を受け経済活動はバランスを崩し低迷している一方で、コロナ特需と言える景気が良い業種もみられるが、生活は相変わらず不安定なので一概に良くなっているとは感じられない。
		農業関係者	野菜類の特に葉物類の価格が長期間低単価で推移したため、所得の増加に繋がらず厳しかった。
		製造業（化学工業）	生産状況は3か月前と比べ、今月も大きな増減がないことから、景気は横ばい状態が続く変わらないと判断する。
		製造業（食料品）	コロナ禍の中では製品売価の引上げは困難にて、現行価格を維持したままで稼働率を優先させる状況が続いている。
		保険業	さつまいもの出荷量が多くなり、トラック運送は良くなっている。観光バスはまったくだめだが、小学校、高校の送迎でなんとか運転手を確保している。
		不動産業	当社は変わらないが、相変わらず居酒屋、スナック、飲食業等、コロナ関係の業態は厳しいと思う。
サービス業（会計事務所）	新型コロナウイルスの感染状況が続いているので、変わらないと判断した。		

やや悪くなっている	家計	スーパー	昨年からコロナ禍によるまん延防止のため外食控えて内食化傾向が強く、スーパーマーケットの売上げは続伸していたが、この状況がやや以前の状態に戻ってきているため客数や売上げは減少傾向になってきた。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの影響で客の動きが悪いため、やや悪くなっていると判断した。
		衣料品販売店	旅行など外出しないので新しい洋服を必要としてない。家にいたり近所のスーパーに行くのにおしゃれをしない。
		家電販売店	いまだ状況が不安定であり、また近隣の感染状況の悪化から若干状況は悪化している。
		小売業（薬品店）	客数が減少傾向にあり、客単価も微減。特に化粧品の売上げが落ちている。
		小売業（薬品店）	新型コロナウイルスの感染を恐れて、クリニック等への受診抑制が続いている。クリニックも透析患者への感染を恐れて、外来患者を予約制にしたため、風邪や簡単な疾患の患者さんが離れている。
		和食レストラン	新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業時間の短縮や自粛の影響によりやや悪くなっていると判断した。
		洋食食堂	時短要請等もあり客数が少なくなっているが、売上げは昨年同時期に比べると挽回している。
		日本料理店	夜は接待中心だが、新型コロナウイルスの影響で企業の接待禁止が出ているため、やや悪くなっていると判断した。
		旅行代理店	客の予約の申込みがほとんどない状態。
		タクシー運転手	まだまだコロナ禍が修復するとは考えにくい。予防接種が遅れているのが現状。もう少し時間がかかるような気がする。マスクをしなくても以前の生活ができるようになれば、生活にも張りが出て景気も回復してくるのではないだろうか。
		レジャー施設	市が感染拡大市町村に加わった期間があったため、その影響が景気に出てきている。去年は臨時休館だったため比較できないが、2年前と比較すると3割から4割利用者が減少している。レストランも4月から食用油等の原材料価格高騰も重なり、新型コロナウイルスによる売上げ減少に拍車をかけ厳しい状況になっている。このようなことから景気がやや悪くなっていると判断した。
		住宅販売会社	入居状況は悪くないが、貸家の希望家賃は安くなっている。貸家の空室数が増えた。
		企業	製造業（精密機械器具）
建設業	資材にかかる費用が高騰している。		
建設業	建築業界の木材の高騰による消費の低迷、コロナウィルス対策の蔓延防止措置のための飲食店の時短要請が要因でやや悪くなっている。		
運輸業（道路貨物運送業）	業績面はなだらかではあるが、下降が続いている。		
雇用	学校就業関係者	今月から求人受付が開始された。年明け、本年度求人を見送るとしていた企業からの求人も有り、新型コロナウイルス感染拡大の影響は思ったより少ないのかと思った。ただし、各企業の採用人数は下がっており、やや悪くなっていると判断した。	
	求人開拓員	いつまでたってもワクチンの接種は開始されないし、社会状況が良くなる傾向もないように感じている。また、感染者も増加の傾向は収まらない。	
悪	家計	農産物直売所	売上げが昨対比7~8掛けになった。単純に客数が減ったため売上げ減少。
		運転代行	新型コロナウイルスの影響で売上げが大きく下回っている。特に営業時間の短縮は大きな影響が見られる。予約等全くない状態。
		住宅販売会社	現状として、リフォームは小工事（50万円以下）での問合せはあるが、戸建て新築はほとんど問合せがなくなった。大変厳しい状況である。
企業	製造業（食料品）	高齢者へのワクチン接種が始まったのは明るい材料だが、1年半近くになるコロナ禍は影響が大きくそう簡単には経済の回復は見込めない。	

(4) 県南地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	家計	コンビニエンスストア	コロナウイルスが流行してから1年が経過し、ますます「慣れ」が強まっている。今まで使わなかったお金も、外に出て使おうという気持ちにシフトしていると感じる。	
		和食食堂	前年の売り上げを大きく上回っている。	
		その他	土地の分譲を行っており、完売が続いているため、良くなっていると判断した。	
企業	建設業	3月は年度末であり工事受注も多かった。5月は受注が減ったが、6月になってからグンと伸びた。昨年6月と比較しても、かなりの多くの工事受注ができた。よって景気は良くなっていると判断する。		
やや良くなっている	家計	スーパー	客数の対前年比が回復してきている。	
		小売業	5/6～19の14日間、市が感染拡大市町村に指定されたことで、飲食レストラン店舗の営業時間が20時までに短縮したものの、全般的な消費傾向は比較的堅調になってきている。	
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響が続いているが、前々年比の3月売上げは44%減、前々年比の6月売上げ(見込)は31%減と改善がみられる。	
		タクシー会社	新型コロナウイルスのワクチンが始まり受けに行く方も増え、タクシーの乗車客が増えている。	
		サービスエリア	4月以降、休日にグループで訪れる客が増えており、観光需要の回復が感じられる。ただし、東京都等における緊急事態宣言を受け、若干回復の停滞も感じられる。	
		ゴルフ場	ゴルフの安全性が認知されているためか、一昨年並みの来場者があった。	
		ボウリング場	コロナ禍慣れからなのか高齢者のワクチン接種が開始されたからなのか分からないが、徐々に客の動きがでてきていると感じる。しかしながら、各地で出されている緊急事態宣言により夜の時間帯の客足は戻らない。	
		レジャー施設	入場者数は少しずつ減少しているが、ネット投票等による売上も向上しており、全体では増加しているときもあることから、概ね景気が上向いていると判断した。	
		企業	製造業(その他)	注文が増えて忙しくなっているが、鋼材の値上がりで利益率が悪い。
			建設業	当社受注は工場関係が多く機械増設、改修等が多くなり、新設や増設工事等で売上げを伸ばしている。全体的に景気は良くなりつつあると思う。照明器具等もLEDに取替えが多くなった。
雇用	求人開拓員	企業からの求人が若干増加している。		

変わらない	家計	スーパー	客数、売上高ともそれほど変わらない。
		スーパー	客数は増えて、単価はダウン傾向が今年になってずっと続いている。
		コンビニエンスストア	客数、売上高ともそれほど変わらない。客単価ともに横ばいで推移している。
		農産物直売所	当店の立地条件は住宅地に囲まれており、周りに他のスーパーも多く苦労している。また、観光道路でないので地域住民に頼っている。今のところ、野菜が高いため直売所を利用する客が多い。売上げは昨年並みと思われる。
		小売業（生花店）	3月末から工場建屋・事務所の竣工祝いや新店舗の開設による御祝の花が動いている。大手の企業が老朽設備の更新時期に来ているものと考え。また、最近夜の人通りが増えてきており、飲食店がにぎわってきているように感じる。
		洋食食堂	国や県の指示に従って店を営業している。ファミリー関係のイベントの予約状況は変わらず、4～8名位の人数で営業しているが、昼でも客単価が少し上がるのでありがたい。
		都市型ホテル	概況でのキャンセルは引き続きあり、エリア開催のイベント等で宿泊もあるが、スポットのみである。レストランも宣言以降、予約も減少し、どうしても伸びない状況、宴会は少人数のWEB講演会のみで、婚礼施工も少人数化している。
		都市型ホテル	6月に至っては自粛ムードが続いており、レストランの来客数や客室稼働率も伸び悩んでおり、3か月前と比較してもあまり変わらない状況。
		タクシー運転手	タクシーの利用客及び外出者の数は微増している。基本的に夜の動きは依然と変わらず戻りはしないが、午前中からお昼過ぎにかけては通院の送迎、ワクチン会場への送迎が増えている。一般客の多くは印象として、依然タクシー利用をせずに移動している傾向にある。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響を受けて、売上高は例年に比べ約40%程度減少しており、また現在も3か月前と同程度の売上高で推移している状況であるため、変わらないと判断した。
		ゴルフ場	来場者は3か月前と同様に増えたままの状態が続いている。ただ、プレー後の飲食やパーティなどはほとんどない。これには深く新型コロナウイルスが影響していると思われる。
		テーマパーク職員	現状、新型コロナウイルスの影響は大きく、その中での集客はできているものの人件費、施設維持管理等々を考慮すると、3か月前と変わらないように感じる。コロナ渦で屋外レジャー施設、アウトドア業界のマーケットは2020年度から広がってきているが、幣施設で考えると現状維持かと感じられる。
		理・美容店	閉店が相変わらず増えている。
企業	農業関係者	6月期の初旬までの来客数・客単価を3月期と比較すると両者とも増加傾向。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。	
	製造業（窯業・土石製品）	仕事の増減がない。	
	製造業（食料品）	新型コロナウイルスが蔓延してる中で外出が少なく、売上げは低迷で変わらないと思う。	
	製造業（印刷・同関連業）	弊社販売実績による。他、同業他社の意見などから、変わらないと判断した。	
	製造業（窯業・土石製品）	製品の出荷状況が同様である。	
	製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスのワクチン接種が進まず、自粛ムードにより特に飲食関係、旅行関係の売上回復が見込めていない。	
	製造業（一般機械器具）	新型コロナウイルスの影響なく事業が継続できている。	
	金融業	県コロナウイルス感染症対策融資制度を利用し手元資金を厚く確保した取引先が多く、当面の運転資金は間に合っている様子。また、先行き不透明感の高まりを背景に設備資金のニーズは乏しく、全体的に資金需要は停滞している。	
	不動産業	賃貸、売買ともに売上げは堅調に推移している。	
雇用	民間職業紹介業	一時的に需要が回復傾向にあったが、半導体供給不足等により、生産の遅れ等が発生している。結果3か月前と比較しても変わらない。	
	求人広告	飲食店の時短要請が解除されたものの、首都圏の緊急事態宣言やコロナウイルス変異株の報道を受けて人の動きはまだ鈍いように感じる。また自主的に営業時間を短くしている商業施設や飲食店も見受けられるため、3か月前の状況と変わらないと思う。	
	公共職業安定所	巣ごもり需要や自動車関連など製造業で、業績回復が引き続き堅調なところがある。一方、一部サービス業など新型コロナウイルスの影響により厳しい状態が続いており、3か月前と変化はないように思われる。	
	学校就業関係者	業務の関係から、学生への求人と内定状況からの判断となるが、例年と変わらず求人があり、内定も決まっている。	
やや悪くなっている	家計	家電販売店	3月頃は売れるべき商品が想定通りに販売できていたが、現状では一部の商品に限り予想を大きく下回っているものがある。例年ではここまで下回ることのない商品。少し景気が下降している気がする。
		日本料理店	コロナ禍で来客数が減った。時短の影響は大きい。
		寿司店	時短があったり営業時間がPM8時、アルコールはPM7時までなどの規制があり、普通の営業時間に戻ってもそう簡単に客は戻ってこない。
企業	製造業（食料品）	委託や油製造の時期が終わり普段の受注状況になる。給食や個人客はそれほど変化はないが、少し前年割れで推移している。対して大口の業者向け、特に飲食がそんなに回復していない。全体でみるとやや悪くなると考える。	
	建設業	ウッドショックによる材料の高騰、材料不足から、やや悪くなっていると判断した。	
	運輸業（倉庫業）	貨物の動きが鈍くなっている。	

悪くなっている	家計	家電販売店	昨年度のコロナ禍の中での特需の反動がきている。
		小売業（米穀）	取引先の飲食店が壊滅的である。この状況が長引くようだと、個人店より中規模店ほど廃業、閉店に追い込まれると話している。
		和食食堂	葬儀系の仕出しをしているが、葬儀の縮小、飲食の制限等で売り上げは落ちている。
		都市型ホテル	結局のところ新型コロナウイルス感染拡大による影響が収まらず、宿泊施設の状況は全く良い方向に向いていない。本来なら数多くの団体客の宿泊で利益を見込んでいたが、団体客の予約は無に等しい結果だった。また、東京、神奈川、埼玉、千葉からの客を取り込んで収益を見込んでいたが客数稼働平均が4割程度では話にならない。
	設計事務所	景気の回復が十分でなく、引合も活発化していない。派遣社員の残業時間がなくなり、出勤日数も少なくなっている。また、弊社の顧客傾向として外国人の占める割合が多く、ローン取り組みに少なからず影響を受けている。	
企業	製造業(非鉄金属)	半導体の供給不足に起因する減産。	

(5) 県西地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスの影響が出る前の水準まで受注数が戻ってきている。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	コロナ禍における緊急事態宣言のあるなしの差が大きくあり、現在週末においては人の動きも多く客数、売上げの上昇傾向が見られる。
		小売業（酒類）	取引先となる飲食店に出されていた時短要請が解除になって少しずつ注文が入ってくるようになった。
		旅行会社	コロナ禍にも慣れきってしまったのかもしれないが、コロナ禍以前の生活に戻そうという動きを感じる。
		タクシー会社	コロナの影響が少しずつ回復してる気がする。
		レジャー施設	新型コロナウイルスの影響で減っていた来園者数や売上げも少しずつ良くなってきていると感じる。
		レジャー施設	小売りの場で、人の動きが以前より良くなっているように感じる。また、出かけていく場の想定ができるようになってきているのを感じる。
		理・美容店	年明けから新型コロナウイルスの影響があり、飲食店ほどではないが厳しさを感じていた。感染の減少もあり徐々にではあるが戻りつつあるためやや良くなっていると判断する。
	企業	製造業（化学工業）	昨年後半からパソコン、スマホ、IT通信インフラの需要好調が継続し、電子材料製品の受注好調。
		製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスの影響がワクチン接種の進行もあり限定的に好転し、オリンピックに向け気持ちが上向いている様子が見られる。
		製造業（金属製品）	仕事量が増加している。
不動産業		建売業者が仕入れを強化し、建売用の土地を探している。	
雇用	人材派遣業	仕事の依頼が少し増えたため、やや良くなっていると判断した。	
	求人広告	アフターコロナを見据えた動きが顧客の企業でも増えてきているため、求人関係の仕事の発注量が伸びている。	
	人材派遣業	いくつかの自動車関連企業で増産の話があり求人が増えた。新型コロナウイルス発生後採用を凍結していたいくつかの企業が今年の4月あたりから採用再開した情報があった。	
	求人開拓員	企業の求人数はゆるやかに上昇傾向が続いており、相談にくる求職者数も4月以降特段の増減がなく推移しているようなので景気は良くなりつつある状況と思われる。	
変わらない	家計	スーパー	新型コロナウイルスに慣れてきたのか、状況は変わっていないように感じている。
		自動車販売店	特に客数などに変化はみられない。
		農産物直売所	青果物の価格に大幅な変動がない。
		レストラン	3か月前の3月も良くなかったが、今月もやはり良くない。団体客は無理だしグループ客も同様で良くなる材料がない。ワクチンもまだまだ行き渡っていない。飲食店は冬の時代が続くそう。
		日本料理店	昼はだいぶ戻ってきたが、夜は常連さんのみ。
		和食レストラン	時短営業はなくなったが、客数が伸びない。昨年よりもさらに悪化している。
		道の駅	客の入り具合から、自宅時間が増える傾向にある。
		道の駅	周辺のまん延防止が解除されても、新型コロナウイルスの感染者数にあまり変化が見られず、人の動きにも変化は見られない。来店人数も変化なし。
		ゴルフ場	客数は感覚的に平年並みである事、併せて、景気が良かったといった話題等も聞こえてこないため変わらないと判断した。
		商店街代表者	コロナ禍の中で新型コロナウイルスの感染者数は現在ピークを過ぎ減少傾向に向かっているが、まだコロナ前の生活習慣に戻るには時間がかかりそう。消費者の買物行動は業種によって差があるが、一部では回復に向かっている動きも見受けられる。
設計事務所	変化が見られない。		
企業	畜産業関係者	状況に大きな変化を感じない。	
	製造業（食料品）	良くなる要素が何もない。	
	製造業（印刷・同関連業）	新型コロナウイルスの影響は仕事量の減少となっており、回復の見通しが見えない。	
	製造業（非鉄金属）	半導体の影響により販売数量が5月は落ち込んだ。しかし6月からは輸入製品が入らず国内の製品にシフト。国内の販売量が増えてはいないので景気が良くなったとは感じられない。	
	製造業（金属製品）	総じてコロナの影響は甚大であると感じている。客先（業界）にもよるが、客先が萎縮していると思える。	
	製造業（電気機械器具）	コロナ禍ではあるが、一部の部署で受注増による人員要請（増員要請）がある。	
	建設業	特に変化を感じない。	
	金融業	木材等の価格が高騰しているが現在のところ、住宅需要に影響なく景気は変わらない状況にある。	
	サービス業（コンサルタント業）	酒類を提供する飲食店の落ち込みが続いており前回と変化はないように見受けられる。	
	雇用	学校就業関係者	本年度も企業からの求人推移は昨年度と変わらない。

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	住宅関連の会社の見込みユーザーの弁当を請け負っているが、だんだん数が減ってきている。
		コンビニエンスストア	客数が減っている。
		家電販売店	来店客数は前年比で80～83%。
		食堂	夜にお酒を飲む客が3か月前よりも減っている。昼も県外ナンバーの客がかなり減っているような気がする。
		タクシー運転手	4月、5月が自粛であまりにひどい数字だった。3月はなんとか運とツキで乗り切った感がある。それでも3月より6月は営業収入が10%位下がっているのも悪くなっていると思う。夜間の駅乗り込み回数が極端に減っている。一人当たりの単価もなかなか伸びてこない。
		ゴルフ場	オリンピック開会に伴い、高速道路の値上げ、交通規制もあり、外出が懸念される。また、オリンピックを開催することで国外からインバウンド需要もあるので外出は自粛傾向になると思う。
企業	製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスの影響が続いていることと金属材料の値上がり、成形材料の値上がりと入手困難により、やや悪くなっている。	
	製造業（窯業・土石製品）	3か月前が想定以上に良かったが、現在はブレーキがかかりつつある状況。当社は本年1月から5月末までは昨年同期比売上げ増だったが、昨年は新型コロナウイルスの影響を大きく受けた。昨年の決算は利益を出したが、今年4月決算では残念ながら赤字だった。	
	建設業	材料や燃料の高騰と公共工事がほとんどないため、工事受注の見通しもたたない。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	新年度準備も落ち着き、コロナ禍による影響が大きくなっている。
		スーパー	客の購買状況が低下（客単価、品単価、買上点数いずれも低下）。
		衣料品販売店	学生用品が主なので悪くなっていると判断した。
		製茶販売	物価がやたら高くなってきている。今まで上がらなかった卵でさえ値上がりした。値上がりしても、給料は減る一方。買い渋りというより買えない。
		日本料理店	コロナ禍による、人手の減少、さらに飲食店の自粛要請、人数制限などにより悪くなっていると判断した。
		都市型ホテル	新型コロナウイルス感染拡大の影響。
		観光型ホテル	例年であれば、農繁期も一段落して客が一番動く時期だが、コロナ禍の影響で人の流れがなくなった。一番の消費者がお金の流れをとめているので、受身の業態の業種であるこの業界はいずれも最悪の状態であると判断した。
		クリーニング店	飲食店などからの話を聞くと、客の入りが少なく経営が厳しいと言う方が多い。
		設計事務所	自粛疲れなのか、発注などにつながる動きも鈍い。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	コンビニエンスストア	季節的な傾向で夏が良くなるので、8月に向けて売上げが伸びるため、良くなっていると判断する。
		ゴルフ場	新型コロナウイルスの終息が見えてきた。
	企業	林業関係者	引き続き、素材、製品等の供給不足による価格の上昇は続く予想する。輸入材が少しずつ国内に入ってくると見込まれるが、もうしばらく高水準で推移すると予想する。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	ワクチンの接種が進むのでやや良くなっていると判断する。
		酒・各種商品小売業	ワクチンとオリンピック次第。オリンピックを開催したため、その後感染者が増えて、また自粛要請が出たら許せない。
		小売業（燃料）	人流・物流が戻れば売上げも回復すると思われる。
		小売業（時計）	新型コロナウイルスワクチンの効果が出てくるだろうから、ステイホーム以外の物を買う意欲が出て来ると思われる。
		日本料理店	ワクチン接種もあり、少しずつ感染対策も緩和になると思う。それに伴い外出ができるようになり観光、買物、飲食等への客の動きは活発になってくると思う。
		観光型ホテル	ワクチン接種も進み、様々な年齢層の集団免疫が少しずつできてくることにより、旅行や外出をする機会が増えることが予想される。旅行や観光に出かける人が増えることにより、ホテルやレストランに客が増え、施設自体はもちろんのこと、その取引業者や交通機関等を含めたあらゆる分野に良い波及効果があると思う。
		旅行代理店	秋の旅行シーズンへ向け、ワクチン接種が進む見通しがある。
		タクシー運転手	ワクチン接種が進めば、高齢の利用者がもっと戻ってくるのではないかと思う。
		タクシー運転手	ワクチン接種で外出が少し回復すると思われる。イベントや集会在少し戻ると思う。
		ドライブイン	現在の状況では9月頃に客数が増加する要素が見当たらないが、地域の商品券の販売が7月以降にあるので、その影響で活気が出ていると予想する。ありがたい。
		レジャー施設	新型コロナウイルスのワクチン接種率が増え、人出も増えると考えられるため、やや良くなっていると判断する。
		ゴルフ場	東京オリンピック、パラリンピックの動向に注意すれば、ワクチン接種の伸展もあり、現状の追い風は続くものと期待される。
		ゴルフ場	企業層の問合せ増加、コンペ予約見込みにより、やや良くなっていると判断する。
		企業	製造業（一般機械器具）
製造業（精密機器）	新型コロナウイルスが減っていると思う。半導体の業績もいい。		
製造業（精密機器）	やはり全体的に予算も増えているので良くなっていくと思う。		
不動産業	ワクチンの普及が前提として、これまで耐え忍んできた人が、一定の人流となって経済にプラス効果をもたらすのではと考える。		
変わらない	家計	スーパー	生活動向は変化がないと思え、悪いまま変わらないと思う。オリンピック問題でも、今後の開催動向により良くも悪くも影響は受けると思われる。正直、先行きは分からない。
		衣料品販売店	新型コロナウイルスが終わらなければ厳しい。
		自動車販売店	ワクチン接種により景気回復を期待したいところだが、購買層である65歳以下の接種が未定のため、変わらないと判断する。
		小売業（弁当・惣菜店）	通常の売上げは順調に回復しているが、社会全体がまだイベントやお祭りのような行事がないためその影響が出てしまっている。
		小売業（酒類）	感染症ワクチン接種が始まったが、全ての人々が接種されなければ厳しい状況は続くかもしれない。
		小売業（水産物）	新型コロナウイルスの感染予防による外出の自粛が続くと予想。
		日本料理店	飲食店への休業・時短要請が続き、客の外出に対する考え方が変わってきており、数か月では元に戻らないと思われる。
		観光型ホテル	新型コロナウイルスの状況によって変動すると思うが、今のところ変わらないと思う。
		観光型ホテル	新型コロナウイルスの予防接種がある程度終わらなければ、見通しは立てられないと思っている。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスのワクチンの接種が徐々に始まり、オリンピックの影響もあり、少しずつ上向き傾向になるのではないかとと思われるが、景気の状態が上がってくるのはもう少し先になるのではないかとと思われる。
写真店	新型コロナウイルスの影響が未だ不透明である。		

変わらない	企業	製造業（電気機械器具）	今後3か月先までは、現在と同様な状況と考える。
		製造業（電気機械器具）	前年と比べ、特に変わった傾向はみられない。
		製造業（電気機械器具）	受注や引合いが少ない状況が当面続く見込みである。
		製造業（食料品）	食品関係なので景気にはあまり左右されない。
		製造業（化学工業）	外食等の復帰がまだ見えない。取引先もコロナ禍前に戻るにはあと半年程度かかるとの意見が多い。
		製造業（電気機械器具）	主力製品の受注に変化がなく、全体的に第一四半期と同じように推移予定。
		運輸業	まだ新型コロナウイルスの影響で、出勤率60%、在宅勤務対応・出張自粛が続いているので、3か月先も今と変わらない状況だと思う。
		金融業	新型コロナウイルスの影響について長期化が見込まれると予想している客が多く、短期的にはワクチン接種による消費マインドの上昇を予想しているものの、総体として変わらないものと思慮される。
		情報通信業（情報サービス業）	ワクチン接種が始まったが、全体的に広がってからのと思う。また、五輪が流動的で景気変動が出てくるのはワクチン浸透と五輪後の4～5か月先と思われる。
		運輸業（精密機器運送）	この景気状況のなかで各企業の点検、検査の件数が減っているため、その点検用品や工具類を輸送しているのが増えていくとは考えにくい。
雇用	公共職業安定所	有効求人数および有効求職者数を見ると、有効求人が有効求職を上回って推移してきており、一部に持ち直しの動きが見られるところであるが、新型コロナウイルスが雇用に与える影響を引き続き注視していく必要がある。	
	求人開拓員	新型コロナウイルスの感染状況、ワクチン接種率にもよるが、すぐに景気がよくなるとは思えない。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	着工する建築現場が少ない。
		スーパー	メーカー等の値上げの影響が出ると予想される。買い控えがあると思う。
		タクシー運転手	回復する理由がない。
	企業	住宅販売会社	ウッドショックと言われる木材供給が不足し建築資材の高騰が起こり、資材が購入できないことがある。そのため品不足状態となり、住宅が建てられなくなる。
		水産業関係者	今現在、好転する材料はみられないため、やや悪くなっていると判断する。
	雇用	求人広告	このコロナ禍で業種によっては良い所もあると聞かすが、取引先の様子を見ていると先行き不安を感じている所が多い。積極的な行動はしないだろうと思われるので、やや悪くなると思う。
悪くなっている	家計	求人広告	ワクチン接種で一時的に回復したとしても抜本的な解決にはならず、完全に気にせず生活していい状況まで戻らないと厳しい。
		コンビニエンスストア	近隣企業のリストラやボーナス減少、リモート会議による移動の減少、居酒屋・スナックなど夜の街の閉店、納品業者の減少などの状況が、今後もさらに加速、拡大する可能性がある。
		スナック	長い間コロナ禍に苦しめられてるから、多少、状況が変わっても、不安が残り、消費には繋がらないと思うから、悪くなっていると判断する。
	企業	ボウリング場	通常3か月先まで予約が多い中、予約が60%低下しているため、悪くなっていると判断する。
		製造業（食料品）	ワクチン接種が70%以上にならないと通常の経済活動が停滞する。中小事業者にとってはこれからが資金難が表面化する。
		製造業（輸送用機械器具）	米州及び日本の自動車市場は緩やかではあるが、回復基調、中国市場は堅調な回復となっている。一方で、マレーシアにおける新型コロナウイルス拡大に伴うロックダウン、グローバルでの半導体供給不足により、搭載製品の売上げ減少リスク継続、予断を許さない状況にある。

(2) 県央地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	割烹料理店	やはり新型コロナウイルスワクチンに期待する。
		都市型ホテル	ワクチン接種の割合増加に伴い、個人需要である宿泊や婚礼などは徐々に回復しそうな予感がするため良くなると判断する。
	企業	不動産業	ワクチンの普及や東京五輪の開催などがあり、人の流れが出ることで予測されるため良くなっていると判断する。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	新型コロナ対策のワクチン接種の普及に期待する話題が多くなった。少しずつではあるが、明るい兆しを感じることで期待を持てるようになってきたと思う。
		小売業	新型コロナウイルスのワクチン接種率が上がることにより、今よりは客足が戻ってくると思われる。
		スーパー	ワクチン接種が進めば人の動きも良くなると思うので、少しずつ景気も良くなっていくと思う。
		スーパー	ワクチン接種が順調に行われ、東京オリンピックにて明るい話題が増えて景気も良くなって欲しい。
		小売業	ワクチンに期待する。
		自動車販売店	新型商品が順次発売となるため、やや良くなると判断する。
		レストラン	また感染者が増加していなければ今よりは良くなっていると思われる。
		都市型ホテル	世間の状況が悪くならないければ、希望的観測も含めやや回復すると見込まれる。ただ、大きな回復はむずかしい。
		観光型ホテル	新型コロナウイルスワクチン接種が進み、個人消費マインドが改善すると予測している。
		旅行代理店	新型コロナウイルスワクチン接種が進み、経済が動き出した。
		バス運転手	ワクチン接種の進展や、大規模イベントや東京オリ・パラの開催により、人の動きが一定程度見込まれる。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスワクチン接種がようやく始まった。私共の業界は外に出ても良い雰囲気がないと忙しくならない。迅速な接種を期待しながら、3か月先は今よりは良くなることを期待する。
		タクシー会社	ワクチン接種率が上がることで、人の流れに変化が出ることを期待している。
		タクシー会社	現行の状況より水戸駅からの利用率が増加するものと予想している。県外からの客が増加し、観光等を含む予約状況が増加傾向にありインバウンド等の客も問合せが増えている。
	観光名所	イベントなど予定しており来館者の増加が見込まれるため、3か月先の景気はやや良くなっていると思う。	
	レジャー施設	ワクチン接種もある程度まで進行している見込みのため、現在よりは人々の旅行マインドが上向きになり、入場者増が見込めると思われる。	
	スーパー銭湯	9月までには新型コロナウイルスのワクチン接種完了率が上がり、客層の一つである高齢者のご来館が増えること、また他県から移動も緩和されてくると考える。以上の点においてやや良くなっていると判断する。	
	スーパー銭湯	ワクチンの順調な接種が進み、オリンピック開催による感染拡大及び変異型ウイルスの急速な感染拡大がなければ景気としてはやや良くなっていると判断する。	
	企業	製造業(食料品)	2回目のワクチン接種を終えた人で消費(観光・外食等)が増えると思う。
		製造業(食料品)	オリンピックが開催され、ワクチンの接種が進めば人流も多くなり、需要も増えて良くなると考えられる。
		建設業	身近な社会の行動から感じる。
金融業		ワクチン接種が進み感染も鈍くなると思われ、従前のように行かないまでもその効果は出ると考えられる。	
工務店		オリンピック開催、ワクチン接種が進み、観光業などが活気を取り戻すと期待する。	
サービス業(コンサル/外業)		住宅等の需要が増え、それに伴い開発も増えてきている。	
雇用	学校就業関係者	ワクチン接種が進み、オリ・パラが順調に進めば景気は全体的に回復すると考えている。緊急事態宣言、まん延防止等重点措置は解除予定であるが、コロナ第6波が到来し、再び宣言・措置が必要になれば、景気にも悪影響が出るのは必至と考える。	
	求人開拓員	ワクチン接種の進展により、運輸・交通、観光、サービス業等で景気回復が明確化する。	

変わらない	家計	小売業	基幹顧客層である65歳以上が大きく減退している。また、消費マインドの回復基調が年代別で格差が生じている。今後のワクチン接種の進捗に期待したい。
		小売業	ワクチン接種の進み具合によって変わってくると考えているが、外出を控えている高齢者の方々がワクチン接種したからといって以前のような生活様式に戻るとは考えにくい。良くて変わらないととらえている。
		スーパー	来店客数は変わらずとも、一人当たりの買上げ点数が減少している。
		コンビニエンスストア	特に変化はない。
		農産物直売所	買上げ単数、単価とも前年並みが続いており横ばいと思われるが、現在少ない県外客の動向によっては良くなるかもしれない。
		楽器販売	楽譜等はその時々でヒット曲があると若干伸びるし、なければ少し減る傾向がある。今は鬼滅も落ち着き、次の流れも特にない中で、楽譜は健闘しているので、通常の部分に関してはそれ程変動がないかと考えられる。逆に高価格商品は売れば大きい売れなければゼロなので、読み切れない。
		レストラン	ワクチン接種の進み具合によるが、3か月先も今とさほど変わらないと思う。
		理・美容店	今年はこのような状態が続くのではないかと思う。
		設計事務所	外部との接触を自粛する中、身近な情報も少ないが新型コロナウイルスが終息を向かえるまでは景気が上向き状況は考えられないと言う声や、ワクチン接種がほぼ完了した後を期待する声が増えている。
	企業	農業関係者	コロナ禍とはいえ、農作業従事者を対象としているため変化はないと思われる。
		製造業（印刷・同関連業）	新型コロナウイルスがまだまだ終息に向かっていないので厳しいと思う。
		製造業（窯業・土石製品）	悪いまま推移しそうである。
		製造業（金属製品）	今後3か月では状況がよくなるとは思えないが、見積りの増加、業界の予測等から、しばらく先にはなるが状況が改善する兆しが見えてきた。
		製造業（一般機械器具）	半導体不足が解消すればよい方向に行くのではないだろうか。
雇用	運輸業（道路貨物運送業）	輸入貨物に関してコンテナ不足は徐々に解消してきてはいるものの、荷主が考えている適正在庫までの回復には時間がかかると思われる。	
	人材派遣業	昨年よりは上向きであるが、今後は横ばいに推移すると思われる。	
	求人広告 公共職業安定所	ワクチン接種等による改善が体感できるのはもうしばらくかかると思う。 新規求職、有効求職者もここにきて、対前年度比がプラスに転じた。	
やや悪くなっている	家計	道の駅	ワクチンが行き渡り外出する人は増えると思うが、新型コロナウイルスの影響でほとんどの企業が苦しい経営をしている。そのつけは一人一人の収入減や失業という形になって出てくると思う。世帯収入が減少するので消費を切り詰めると思う。よって景気はやや悪くなると判断する。
		ペット美容室	オリンピックの余波により、今よりいろいろな面で混乱していると思う。
		設計事務所	コロナ禍以後やオリンピック後、経済状況が上向きなりそうな気分もあるが、現在以上の社会不安もあり、景気回復は望めないと考える。
	企業	製造業（精密機械器具）	4月から6月の受注が低迷しており、コロナ禍の影響が出始めて来たかと懸念している。弊社の位置する業界の通説では、業界景気の影響は1年から1年半程経ってから出始めると言われている。科学的な根拠はないが、これまでの経験から「中らずと雖も遠からず」とその対策を検討中である。
悪	家計	割烹料理店	コロナ禍になってから地元企業へのケータリングや弁当配販が一番減少している。
		家電量販店	自営業・サラリーマン等の方々の収入減とも関連するので、コロナ禍が早く治まるよう願うのみだ。
企業	製造業（印刷・同関連業）	新型コロナウイルスの収束の見通しがたっていない。また、客との会話でもなかなか良い話が聞かれない。	

(3) 鹿行地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	雇用	民間職業紹介業	車関係、半導体関係が忙しくなる予測。
やや良くなっている	家計	農産物直売所	新型コロナウイルスのワクチン普及で遠方からの客の来店が多くなるだろう。
		小売業（薬品店）	ワクチン接種が進めば、人出の増加、客数の増加が期待できるためやや良くなっていると判断する。
		小売業（食品）	オリンピックにより左右されると思う。
		小売業	ワクチン接種が進み、個々の行動範囲が広がり、消費が上向くのではないかと期待する。
		和食レストラン	新型コロナウイルスのワクチン接種者の増加によりやや良くなっていると判断する。
		洋食食堂	新型コロナウイルスの感染者数も減りつつあるので、日常が帰ってくると思う。
		日本料理店	ワクチン接種で感染者が減ってきて、人の動きが良くなりそうなのでやや良くなっていると判断する。
		観光型ホテル	宿泊者の予約が少し増えてきた。
		観光型ホテル	東京都や北海道等9都道府県の緊急事態宣言が解除されることを予想すると客足が増え、景気がやや良くなると思う。また、去年はGoToトラベルキャンペーンを行っていたため、予約が増えたが今年を行う予定のないことを考えると昨年よりも景気が良くなっているとは思えないため、やや良くなっていると判断する。
		運転代行	少しは人の動きも良くなるような気がする。
		都市型ホテル	夏休みの時期なので多少期待できる。スポーツ合宿など。
		ゴルフ場	新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、これまでの閉塞感からの脱却でよりレジャー消費に向かうと思われる。
		クリーニング店	若い世代にもワクチン接種が進んでいく。感染防止が万全とはいかないが、これまでの自粛生活よりは行動範囲が広がると思う。精神的にも前向きになる。
		企業	農業関係者
製造業（精密機械器具）	新型コロナウイルスのワクチン接種が進み動きが良くなる。		
製造業（鉄鋼業）	引き続き、経営環境の好転が見込まれる。		
運輸業（道路貨物運送業）	緊急事態宣言が解除されれば、メーカーの動きも戻ると思うので期待したい。		
金融業	高齢者を中心にワクチン接種が開始され、今後、幅広い世代への接種が広がるにつれ抑えられていた個人の消費行動が拡大するものと思われる。		
サービス業	保留されていた案件や新たな案件の引合いが目立ち始めてきている。ワクチンの接種が進み人の往来が戻れば、これまで保留していた商談が一気に進む可能性があり期待感も出てきた。		
雇用	公共職業安定所	65歳以上の高齢者へのワクチン接種終了と、その後の他世代へのワクチン接種が順調に進めば、消費は回復基調となり、景気も上向きになるとと思われる。	
	学校就業関係者	ワクチン接種者数が増え、感染拡大防止が成され、徐々に重症化も防げるようになるのではないかと考えている。結果、景気も少しずつ良くなるのではないかとと思う。	
変わらない	家計	商店街代表者	現在、感染拡大市町村として指定されているが、今後も新種のウイルスの流入による感染者の増加・医療従事者の不足によって余儀なくされる自粛要請（何度も繰り返している負のスパイラル）による影響が続いていると予想されるため、変わらないと判断する。
		スーパー	客単価に変化がないため、変わらないと判断する。
		コンビニエンスストア	店舗の売上げ、客数、客単価どれをとっても厳しいので、変わらないと判断する。
		農産物直売所	新型コロナウイルスのワクチン接種は進むだろうが、オリンピック開催で我々のところにはかえって人が集まらないと思う。
		小売業（菓子類）	特に人の流れは今月と変わらないと思う。ただし、オリパラの影響で新型コロナウイルスの感染者が増えないことが前提である。
		割烹料理店	新型コロナウイルスのワクチン接種が進んできているようだが、客が動くようになるとは思えない。
		海鮮料理店	人流が減少してから人々の意識も変わり、元に戻ることは難しいと思う。
		旅行代理店	新型コロナウイルスの影響で、先の見通しが立たない。
		タクシー運転手	今の状況では変化はないと思う。タクシー業界も非常に厳しい状況になる中、客が「タクシーに乗って良かった」と思うようになるよう業界も考えていかないと客足も鈍るし、生活も楽にはならない。サービス業である以上、客のためになることをしなければ景気はまだ回復はしないとと思う。
		道の駅	新型コロナウイルスが終息しないと、現状のままと考える。
		ゴルフ場	ワクチン接種と生活の安定が景気回復の鍵と考えるが、現状のペースではあまり変わらず、現状維持が妥当と言える。また、ワクチン接種が進んだとしても、急激な回復は見込めず、しばらくは低迷もしくは停滞すると予想。生活支援を希望する人が依然として増えている傾向もあり、景気回復を感じるのは、来年以降と思われる。
レジャー施設	ワクチン接種が若年層まで進まない限り景気状況はこのままか、さらに悪化すると思われる。少なからず海水浴場開設中止の影響も出てくる。		

変わらない	企業	製造業（化学工業）	ユーザーの生産の稼働率は横ばいの状況が3か月先も続くと思われるので、景気は変わらないと思う。
		製造業（食料品）	国民はコロナ疲れであり、そう簡単には体力は戻らない。
		製造業（食料品）	ワクチン接種の進捗状況により景気回復が左右されると思われるが、年内中は期待できないのではないかと。
		製造業（電気機械器具）	まったく見えない状況。製造業は、その業種により、未だに雇用調整助成金などを活用して、生産調整をしている会社も多い。
		製造業（ゴム製品）	新型コロナウイルスの影響がどのように出るかわからない。
		製造業（金属製品）	オリンピック開催後の状況が予測できない。
		運輸業（道路貨物運送業）	現状の動向では、しばらくこの状態が継続すると思う。
		保険業	東関東自動車道や国道のバイパス工事で土木工事が忙しい。ゴルフ場の入場者が多くなり、料金も上がっている。米価が安くなっていて9月の農家収入が心配。
		サービス業（会計事務所）	新型コロナウイルスの感染状況が続くと思うので、変わらないと判断する。
雇用	人材派遣業	先々の動向については慎重な判断をしている企業が多数の状況。	
	求人開拓員	ワクチンの接種が始まってもすぐに収束することもないだろうし、オリンピックが開催されてそのあとどうなるのか予測もできない。周りの方々もしばらくは様子見ではないかと思う。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことにより日常がもとに戻り、特需的な消費行動はなくなるため、売上げは前年に比較すると大きく減少することになる。一方で慢性的だった人手不足状況が他業種からの流入で充足していたが、売上げ減少傾向になると、逆に人手余剰で生産性が落ちることが予測される。
		コンビニエンスストア	ワクチン接種が終わるまでは客もいろいろな面で自粛しているため、やや悪くなっていると判断する。
		衣料品販売店	オリンピック終了後にどういった状況になるか想像できないが、急に景気が良くなるとは思えない。
		小売業（薬品店）	病院、クリニック関係は新型コロナウイルスが収束しないと本当の景気回復にはならないと感じる。
		小売業（書店）	新型コロナウイルスの影響で子供の来店数が少ない。
		住宅販売会社	コロナ禍で収入が減り、生活保護や公的補助を受けた入居者が数名いる。今後貸家からの退去が増える可能性がある。
	企業	建設業	飲食業界は死活問題と聞いている。それぞれが工夫して耐え忍んでいるのが、見ていて辛い。生木を裂くような政策に疑問を感じる。
		建設業	木材高騰や日本製鉄高炉休止の影響による影響で建設業界が低迷傾向に進むと想定される。
		不動産業	住宅資材（木材）が不足状態にあり、新聞記事等にて一部値上げとのこと。また鉄鋼関係も値上げとのこと。建築関係の受注も少し厳しいような気がする。それでも少しテナント関係の入居の問合せがくるような感じがする。
悪	家計	住宅販売会社	金利は下がってローンの条件は良くなるが、資材高騰、特にウッドショックの影響で住宅単価が高騰し、新築計画を様子見する傾向になると思う。一方で、リフォーム、中古住宅の需要が増える要因がある。

(4) 県南地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良くなっている	家計	コンビニエンスストア	さらにコロナに対する精神的免疫が個人で高まっていることが予想される。またワクチン接種率も上がることが考えられるので、それに比例して景気も回復すると思う。	
		和食食堂	昨年が底であり、回復基調を感じる。	
		タクシー運転手	新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、飲食店等の活気が戻ってくる。人の行動範囲や時間が広がって利用する客が増えると思う。	
		タクシー会社	新型コロナウイルスのワクチンを打つ方が増えて出歩く人が増えると思う。	
	企業	製造業(非鉄金属)	半導体供給が改善していると予想。	
		建設業	今年度は新型コロナウイルスの影響で公共工事が減ってくるのかと思ったらそれほどでもなく、昨年と同じように工事が出ている。今後のこの傾向は続くと思うので景気は良くなっていると判断する。	
やや良くなっている	家計	スーパー	オリンピック効果によりやや良くなっていると思われる。	
		スーパー	オリンピック効果は期待できないが、ワクチンの接種が進み、飲食店への規制も緩和されるのではないかと考える。	
		農産物直売所	他のスーパー、ショッピングセンターなどに行っても客はいっぱい入っている。	
		小売業(米穀)	ある程度ワクチン接種が進んで、感染者が少なくなるとダメなような気がする。6/20で本当に緊急事態宣言、まん延防止重点措置が解除されるのかも不透明だと思う。	
		洋食食堂	新型コロナウイルスのワクチン接種が済むことにより、行動範囲が広がり、ショッピング、旅行、会食等大人数の場面が増えていく。アルコールも飲まれるようになり、売上げも少し良くなると思う。	
		都市型ホテル	ワクチンを高齢者へ普及することにより、国内の観光需要が今より高まる傾向になると思われるので、景気はやや良くなるかと期待している。	
		タクシー運転手	倍増ではないにしろ、外に出る人の量は増加していると思われる。理由としてオリンピックによる人手の増加は必然で、外出の機会が県内でも増えるためやや良くなっていると判断する。	
		サービスエリア	オリンピック以降の新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、ワクチン接種もある程度進み、反動による大きな感染者増がなければ、夏季の外出、観光の機運は高まるように考える。	
		ゴルフ場	コロナ禍が一応の落ち着きを見せているためか、コンペや企業接待ゴルフの予約が増加しつつある。	
		ゴルフ場	現在は客から、ちらほらオリンピックの話題が出ている。実施するのであれば、通常なら景気は上向くはず。これもコロナで悪影響が出ないことを願い期待したい。	
		テーマパーク職員	全国的に非常事態宣言も解除されつつあり、人の動きが予想される。世の中の動向として、余暇を過ごすのであれば、オープンエア、予防対策の中で遊びや体験型を選ぶ傾向にあり、また自粛を余儀なくされていた地域の方は、ファミリーや若い世代で開放的に遊ぶことに対し経済的に浪費というよりは、思い出や経験にお金をかけることに躊躇がないように感じる。実際、今まで減少傾向だった、団体や企業単位での利用がこの先多い。	
		ボウリング場	高齢の常連客で、「ワクチン打ったらまた来るからね」と仰って、今は来店を控えている方が多数いる。高齢者にワクチンが行き渡るだけでも徐々に景気が回復してくると思う。	
		レジャー施設	新型コロナウイルスとの共生が続くなか、感染対策をした上で営業は続けていくため、今後も段々と景気が改善方向に向くと考えた。	
		企業	製造業(食料品)	新型コロナウイルスのワクチン接種を多くの方が受ければ、感染数も減少し人の流れも戻ってくると思う。
			製造業(窯業・土石製品)	新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、飲食関係、旅行関係の業種についても徐々にではあるが回復基調になるのではないかと考える。
雇用	求人広告	ワクチン接種に期待し、接種の完了がひとつの目安として期待している人々は多いように思える。またオリンピックが無事成功すれば、「少し家から出てみようかな」と思える人が増え経済も回復していくのではないかと考える。		
	公共職業安定所	新型コロナウイルスワクチン接種の拡大により、サービス業関係に回復の兆しが見えるようになるのではないかと考える。		
	求人開拓員	新型コロナウイルスのワクチン接種の実施拡大により、企業活動の活性化が予想される。		

変わらない	家計	家電販売店	新型コロナウイルス、オリンピックなど障害物が大きくなっている割に人々の反応が薄いような気がする。また、半導体不足が不安視されていて商品供給の先が見えないところがネックだ。
		スーパー	今年中は、今の傾向が続いていくのではないかと考えている。
		コンビニエンスストア	当初オリンピック景気、夏場のイベント等による消費アップを期待していたが、新型コロナウイルスがまだまだ落ち着いていないことから現状維持で推移するものと予想する。
		小売業	ワクチン接種が完了するまでは、この状態が続きそうだ。TOKYO2020開催期間中の動向も不透明。
		小売業（生花店）	婚礼関係の回復が鈍いことや葬儀の小規模傾向などがあり、以前のように仕事が入っていない。
		和食食堂	コロナウイルスの流行を機に縮小した葬儀の規模は、今後戻らないと思う。一度、崩れた風習は戻らない。震災後の宴会需要も同様に戻らなかったのも、そう思う。
		日本料理店	3か月先のこともわからない。
		都市型ホテル	予約状況を加味してもほとんど変わらない状況が見える。オリパラの影響も現時点ではほとんど期待できない。
		都市型ホテル	今後も宿泊施設の稼働率が上がるとは思えない。近隣の宿泊施設は軒並み価格の値下げを実行して予約増に踏み切っているようだが、それでは利益率が悪くなるばかりなので当施設では値下げはしない方向で凌いでいる。本格的に人の流れが戻り、以前のような利益を上げられるのはまだまだ先になるのではないだろうか。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響を引き続き受けて、状況は変わらないと推測される。なぜならば6月3日茨城県の感染拡大市町村から土浦市など12市町村が解除されたものの、6月3日以降もまだ9市町村が感染拡大市町村に指定されていること、また新型コロナウイルスの予防接種は各市町村で進捗状況は異なるが、総じて進捗状況が芳しくないことから、今後3か月先も現在と変わらないものと推測されるため、変わらないと判断する。
理・美容店	政治が何も変わらないから。		
その他	今が天井と感ずるため、変わらないと判断する。		
変わらない	企業	農業関係者	今後の景気回復の要素が見当たらない。
		製造業（食料品）	納品先の雰囲気や店内の様子を見ると客数が増えている感じを受ける。ネットでの受注が増加傾向ではある。ただし、大口の受注はどうなるか不透明。小口の注文が増えれば相対的に客数が増えて将来につながる可能性は大いにあるが、経費がかさむ傾向が大きい。新型コロナウイルスのワクチン接種で明るい雰囲気が出る事を期待するが3か月ではそんなに変わらないのではと思う。
		製造業（印刷・同関連業）	ワクチンの効果により、今後「緊急事態」や「蔓延防止」などが発出されることはないと思うので、悪くなることは考えにくい。しかし、景気が良くなる材料も見当たらない。
		製造業（その他）	このところ鋼材の値上がりが続くが、取引先が値上交渉に応じてくれる会社ばかりではない。仮に値上交渉すると他社に移る可能性があり心配だ。
		製造業（窯業・土石製品）	受注残に大きな変化があらわれていない。
		製造業（一般機械器具）	変わるような材料がない。
		運輸業（倉庫業）	貨物の動きの変化がないと予想されるので、変わらないと判断する。
		金融業	新型コロナウイルスのワクチン接種の進捗が進まないと人・モノの動きも限定的となり、現状のまま推移するものと推測される。
雇用	民間職業紹介業	半導体供給や輸入材木品のコストアップ・納期遅延等により、回復企業も出てくるが悪化等の企業もあるためにトータル変わらない予測。	
	学校就業関係者	業務の関係から、学生への求人からの判断となるが、企業側は学生の採用に意欲的であり、変わらない求人数が見込まれる。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	客数、売上高ともやや悪くなっていると思われる。
		家電販売店	昨年度のコロナ禍の中での特需の反動がきている。
		寿司店	客が戻ってこない。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスの影響で景気が悪化している世帯が多い。
建設業		現在資材単価の上昇により3か月先は見通しできず、客が内容によって検討中、先延ばし等になると景気はやや悪くなるかと思う。コロナ禍の中で別途費用もかかるなか、景気上昇とはいかないのではないかと。営業等も会社に出向いての話し合い、打合せ等をなるべく自粛して電話等にてが多い。	
	不動産業	木材の値上げ等により、建築需要が減少する懸念がある。土地の売買売上げも減少するのではないかと。	
悪	家計	設計事務所	新型コロナウイルスのワクチン接種拡大により希望的観測で良い方向に向かうと考えたいが、一方で オリンピックにおける感染拡大が危惧され、収入、業績に影響を及ぼすと考える。
	企業	建設業	ウッドショックによる材料の高騰、材料不足による受注減により、悪くなっていると判断する。

(5) 県西地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	小売業（酒類）	オリンピックも行われるようで、そうすると周辺の人動きに規制はかけられないだろうから人が動けば物が動くのは当然のことと考える。
		レジャー施設	新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、少しずつ良くなっていくのではないかと思われる。
		設計事務所	コロナ禍の対応をしながらの経済活動が動き出してくる。
	雇用	求人広告	数か月後には全体の景気は悪い中にも、業種によっては景気が回復している企業があるとみている。数か月後の仕事の相談が増えているため良くなっていると判断する。
やや良くなっている	家計	家電販売店	白物家電（エアコン）を中心に前年同様水準の動きは出てきている。
		製茶販売	希望を込めて、やや良くなるにした。新型コロナウイルスのワクチンの接種が進めば、今とは少し変わるのではないかと。
		日本料理店	コロナの回復次第。
		食堂	新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば外出する方も増えて、いろいろな消費が増えてくるのではないかと考えている。
		和食レストラン	70%以上にワクチン接種が進み、当店のターゲット客層である高齢者が外食に出るとみられる。
		旅行会社	徐々にではあるが、底だったところからなので今よりも良くなっていくはずだと思う。
		旅行代理店	少しずつ回復してくれたら良いと思うが、実際はわからない。ワクチン接種が90%以上完了すると、世の中の動きが始まるかと思う。物品の動きと観光の動きでは生活品は同じように需要があるが、観光分野は余った時間とお金で左右されるのでいざというとき後回しのようなところだ。
		タクシー運転手	3か月後の9月は、間にオリンピックがあり、新型コロナウイルスのワクチン接種も数字が上がり、さらに緊急事態宣言がなければ景気も上向いてやや良くなっていくのではないかと考える。結局は景気が良くなるも悪くなるもコロナ次第というところだと思う。
		タクシー会社	ワクチン接種により、経済が良くなる気がする。
		観光型ホテル	ワクチン接種が行き届いて、人の流れが回復すれば必ず少しずつ景気は回復してくるものと期待している。
		道の駅	オリンピックの開催、ワクチン接種等により人の動きが少し活発になると思う。
	ゴルフ場	オリンピックが閉会することで高齢者層の行動が意欲的になると思う。	
	レジャー施設	ワクチン接種が進み、消費行動が活発になっていくと思われるため、やや良くなると判断する。	
	企業	製造業（窯業・土石製品）	ある程度まで回復してきているが、これ以上は新型コロナウイルスがインフルエンザ程度の扱いにならないと難しいかもしれない。
製造業（窯業・土石製品）		新型コロナウイルスの影響で極度に委縮した経済活動と集会などが再開されてきている。	
製造業（窯業・土石製品）		当社は中国の石材加工業者とライバル関係なので、物流、海運、円安円高等が受注、売上げ及び利益につながってくる。現在は幸いコンテナ不足等で中国の輸出物流が滞っている状況のため、3か月先は多少良くなると思う。	
不動産業		建売メーカーの販売が好調で、それに伴い仕入れが活況化。土地の販売が好調。	
雇用	人材派遣業	自社採用を再開した企業が増えつつあるため、市場感としては足並みそろえる形で採用再開する企業が増えてくると感じる。	
	求人開拓員	新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるので、3か月後には経済活動もコロナ禍以前に向かいつつあると予想される。	

変わらない	家計	スーパー	コロナ禍の客の購買行動が固まったように感じる。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスのワクチン接種率が上がっていくと思うが、その反面東京五輪等の大型イベントによる人の動きで感染者も増加していくと思うので、結果的に今と変化はないと考える。また、ワクチンの接種率が上がると飲食店の利用が回復してくると思うので、その分コンビニエンスストアの売上げは減る部分もあると思う。
		自動車販売店	景気が良くなる要素がない。
		農産物直売所	梨等の果実の出荷が始まり、需要が伸びると思うが、その他の青果物の価格が大幅に上がるとは思わない。
		レストラン	悪い感じが固定していると思う。ワクチンも9月には国民の半分は接種していないと思うので、まだまだ混乱の中だと思う。飲食店は密になるので今年は良くなれないと思う。
		道の駅	ここ数か月、来客数も横ばいのため、変わらないと判断する。
		ゴルフ場	極端に客数が減少するような状況はなく、平年並みと予測されるが、緊急事態宣言は減少に大きく影響する。
		理・美容店	五輪後の経済回復に期待したいところではあるが、感染拡大の危険もあると思う。五輪が終わってみなければわからない。客や周りの声は五輪開催はしない方がいいというのが多い気がする。
		商店街代表者	茨城県の緊急事態宣言が解除され、また高齢者からの新型コロナウイルスの予防接種も始まっており、これが若年層まで浸透していけば秋以降の外出の機会が増えるので、それに伴い消費が上向くと予想される。ただし、現段階のペースではまだ時間がかかると考えられる。
		クリーニング店	どれだけワクチン接種が進むか、また感染者の状況によって変わってくると思う。
	企業	製造業（食料品）	良くなる要素が何もない。
		製造業（電気機械器具）	現状、新型コロナウイルスの影響も、材料の値上がり、入手性も不透明であるため変わらない。
		製造業（印刷・同関連業）	ワクチン接種が進み、少し明るい見通しがついてくるかもしれないが、本格的には年を越してからかもしれない。
		製造業（非鉄金属）	車がエンジンからモーターに変わりつつある中で、アルミの需要も変わる傾向にある。しかし材料であるアルミスクラップも変わると思われる。
		製造業（化学工業）	電子材料受注好調環境は年内は続くという市場情報。
		製造業（金属製品）	7から8月にオリンピックが開催され9月に上期末を迎えることを考えると、メディアが報じている「秋以降の好景気」はあるのか。根拠が良く見えない。
		製造業（電気機械器具）	中・長期の予測は難しいがこの状況は当面続くと思われる。
		建設業	特に変化を感じない。
		金融業	運送業を中心に安定した売上げ計上するも、割烹店などの飲食店は依然厳しい状況。新型コロナウイルスの収束は今まだ見込めず、より一層二極化が進んでいる。
サービス業（コンサルタント業）		新型コロナウイルス次第だが大きな変化はないと思っている。またワクチン接種が終了した段階でどうなるのか好転するほうに期待している。	
雇用	人材派遣業	暇になってくる会社があるので、変わらないと判断する。	
	学校就業関係者	特段良くなる要因がないように思える。	
やや悪	家計	商店街代表者	バスを仕立ててのモデルハウス見学のユーザーがこれからの宣言いかんによって減少すると思われる。
		スーパー	オリンピック等の関連で、新型コロナウイルスが再燃するのか微妙な感じである。
		コンビニエンスストア	ワクチン接種が終わらない。
		衣料品販売店	学生用品が主なので悪くなっていると判断する。
企業	建設業	民間の工事の受注も少ないためと材料の高騰により、民間工事の受注も少ない。利益率も悪くなる。	
悪	家計	商店街代表者	コロナ禍による影響が再び大きくなっていると予想される。
		日本料理店	経済が上向きになると思わない。
		都市型ホテル	新型コロナウイルス感染拡大の影響。
		設計事務所	閉塞感が続いていると思われる。
	企業	畜産関係者	オリンピックなどの影響があると思う。
製造業（金属製品）	見積り、受注予定がほとんどない。		

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	自粛疲れで具合を悪くしている方が増えている。消費意欲に乏しい。
	スーパー	他人と触れ合う「場」自体が少なくなったので、分からない。
	スーパー	やはり一番はご夫婦での買物が目立つ。昨年には見られなかったことだ。メモを見ながらの買物も目立つ。
	コンビニエンスストア	従業員の家族がリストラされた。現在2名がリストラを言われているようであり、営業や納品業者の減少も見られている。
	小売業（弁当・惣菜店）	身近にも、新型コロナウイルスのワクチン接種をしたとか予約をしたとかの話も聞かれるようになり、合わせて見通しが出てきたといった雰囲気になってきている。今後の接種の進捗状況が気になるところである。
	小売業（燃料）	地域の新型コロナウイルスの感染者は少ないが、やはり東京などが少なくならないと自粛が続くと思われる。
	小売業（酒類）	前年度実施した自治体の事業に今回も参加したので、期待できている。
	小売業（水産物）	倒産や閉店する企業が増えていて不安。新型コロナウイルスの予防接種が始まった頃から少しずつ年配客が増加しているような気がする。
	小売業（時計）	閉店セールのお店が出始めてきている。
	レストラン	新型コロナウイルスの影響。日立の低迷とは考えたくないし、理由にはしたくない。努力していきたいと思う。
	日本料理店	現在都内は緊急事態宣言中のため、飲食店でのアルコール等の提供ができないので外出を控えないといけませんが、近隣県への外出が多くみられ、県内でも他県ナンバーの車が多くみられる。予約等でも県外から来る客は多い。コロナ禍ではあるが、県外から往来があれば少しずつ景気としては戻ってくると思う。
	スナック	町内でクラスターが発生した事が大々的に報じられ、飲食店は壊滅的で自身の店も閉店休業状態。
	観光型ホテル	まだまだ消費を我慢していると思う。
	観光型ホテル	上向くことなく停滞し、閉塞感が漂っている。
	観光型ホテル	家の建て替えについて工務店と相談している過程で、全国的な材木不足で価格が急騰していると聞いた(原因は、いち早く経済を再開したアメリカと中国の材木需要の増加。コンテナ不足とコンテナに関わる人員の人手不足とのこと)。また、職場のパソコンを入れ替えるため業者に相談したところ、パソコンも全国的に供給が不足している状況を知った(テレワークの増加や学校関係のオンラインへの移行需要とのこと)。同じコロナ禍の中でも、業界により、かなりの好況と不況の差があると身近に感じた。
	タクシー運転手	地域のお買物支援（半額助成）が6月21日より始まり、地元商店での買物が一時的であるが活発化した。
	レジャー施設	昨今は、徐々に利用者が増加傾向にある。一方、首都圏を中心に緊急事態宣言が発令されており、県外からの利用者は少ない状況。遠方からの利用者が少ないと、おみやげ類もほとんど売れず、更に感染予防策として一部の施設休業やレストランの利用制限等を講じて営業を行っているため、観光業においては厳しい経営環境が続いている。新型コロナウイルス流行前の収入には、まだまだ戻らないと実感している。
ゴルフ場	若い方の人流が増えた。	
ゴルフ場	ゴルフ業界は松山、笹生両プロゴルファーの世界制覇の快挙でゴルフに対する関心が高まっている。ゴルフの無3蜜な活動が再評価されている。脱都会の流れが自然回帰の地方移住にも繋がっている。	
ゴルフ場	感染拡大予防についての意識は徐々に希薄になりつつある。	
企業	林業関係者	ウッドショックによる丸太、製品価格の上昇に関して、一般の方からの問合せや、山林の施業の申し込みが相次ぎ、関心は高くなっている。また、連ドラなどで林業関係の「森林組合」等の関連で関心は高まっている。しかしながら、高水準の後の価格の下落が大きな不安。
	製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスのワクチン接種が完了しないと現状のままか、更に悪化する可能性がある。
	製造業（電気機械器具）	ショッピングモール等の人流は、新型コロナウイルス前と比較しても変わらない印象がある。
	製造業（電気機械器具）	産業用ロボットの動きをみて、中国向け案件が増えてきたため、他分野でも中国案件に期待したい。
	製造業（一般機械器具）	前年度同時期と比較すると弊社の状況からは改善傾向にあると考えている。
	製造業（精密機器）	材料の値上げの申し入れがいろいろなところからきている。
	金融業	事業再構築補助金を活用し、コロナ禍での新たな販売スタイルの確立を計画する客が増えている。
	不動産業	不動産建築業に関しては、変わらない状況だが、リフォームについては問合せが増えている。家で過ごす時間が増え、これを機に、「自宅の充実」「自宅のメンテ」を考えるのではと読み取っている。
運輸業（精密機器運送）	知人の飲食店では店を閉めてしまったところも出てきている。飲食店には補助金があるが、卸しなどにはそれすらない。そういった職業の人はかなりしんどくなっている。	
雇用	求人広告	5月のGW後に閉店・閉業が多かったように思う。
	求人開拓員	JR内原駅新築工事や杉林伐採（宅地開発）等が進み、更なる発展が楽しみ。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの影響に伴い、仕入れ先では販売方法や組織の変更などが多くみられるようになった。例年になく人事異動が多い気がする。
	小売業	入店客数、買上客数ともにコロナ禍前水準には大きく溝をあげられているが、年代別の44歳以下は各年代ともに一昨年対比で増加傾向を示している。長引く自粛の呼びかけに対する反動増と考えられる。消費自粛の代替え需要と思われる。
	小売業	隣接する県からの客が増加傾向にある。都内で買物していた方が、都内に行くことがリスクととらえて、車で動ける地域での店舗に行っているのではないかと。
	割烹料理店	今までは飲食業やそれに付随した企業の業績の減少が顕著だったが、このところ弁当やケータリングでも顕著に現れている。製造業にも影響が出ていると思われる。
	スーパー	近隣にディスカウントショップが出店予定であり、さらに価格競争となる恐れがある。
	家電量販店	新型コロナウイルス感染を恐れてのことだろうが、店の前を通る車、人の数が少なくなっている。
	小売業	旅客数の減少。
	自動車販売店	コロナ禍においてもこの1年、来店者数は減るどころか前年比若干増えている。また県外からの客は基本お断りしているがそれでも首都圏を中心に来店される方が結構いる。
	農産物直売所	昨年は電話注文が多かったが、今年は来店してお買上げが多く、電話注文は前年の半分となった。
	楽器販売	GW過ぎまではギターの弦交換やエントリーモデルの電子ピアノの動きが活発だった。お家時間を楽しく過ごされていたのかと思うが、ここに来てその流れが止まっている。
	レストラン	土日祝日の混雑を避けて、平日夜の仕事帰りのゲストが目立つようになった。
	割烹料理店	休日はゴルフに行くがゴルフ場がとても混雑しているように思う。
	観光型ホテル	5月のGW期間中は多くの県外ナンバーが見られたが、現在はそこまで多くの県外ナンバーの車を見かけなくなった。
	バス運転手	ガソリン価格が上昇傾向にあり、自動車ですら遠出しようとする気持ちに水を差すのではないだろうか。
	タクシー運転手	県独自のまん延防止が解除されたが、夜の街に人が戻ってくることは簡単ではない。しかしながら、夜、灯がともっていることはほっとする部分がある。
	タクシー会社	タクシー車両等の新型コロナウイルス感染症対策が進み低オゾン発生器等の搭載により、安全・安心な移動手段として客に周知されつつある。当社の利用客より、安心して利用出来るとの声が寄せられており、安心感の影響の和が広がっている。特に高齢者の方々に好評で、外に出ることを控えていた客の利用が増加している。
	道の駅	自粛当初は、家での食事の時にプチ贅沢をして高価な果物などが売れたが、最近は余計なものは購入せず、必要最低限の買物しかしない客が増えた。
	スーパー銭湯	近隣の食料品店（スーパーマーケット）では、土日繁忙日は各レジ待ちが10人以上になるなど好調である。
	レジャー施設	施設の新規利用に関する問合せが増加傾向にある。今後の景気の動きの判断基準として、新規利用や利用解約の件数など引き続き注視していきたい。
	ペット美容室	新型コロナウイルスの終息を見込み、旅行の予約を開始している方が周りで増えてきた。
設計事務所	市で、住宅・店舗のリフォーム促進補助事業が始まり（最高住宅10万円、店舗20万円）、市内の各施工業者はこれによる多少の受注増があると聞いている。	
企業	製造業(食料品)	飲食店の閉店もあるが、新規開店もある。
	製造業(印刷・同関連業)	ワクチン接種が進み新型コロナウイルスが落ち着いても、イベント等の開催が以前のように進められるのかなど、先行きが不安である。
	製造業(一般機械器具)	ある祭りは中止、あるイベントは開催予定。オリンピック次第で秋以降のイベント開催可否が決まるのも多いと思われる。街がにぎわう景色をまた見たい。
	製造業(精密機械器具)	弊社取引先の大企業、選択と集中の一環で一部製品を外部に委託するにあたり、弊社で受託する事になり、1号機が完成した。今後の安定した受注・売上げと、弊社の財務に寄与するものと大いに期待出来る。
	建設業	新たな消費動向が身近な事業に関わってくる感がある。
	運輸業(道路貨物運送業)	東京近郊で大規模な倉庫ができており、倉庫が過剰と思える。
	金融業	少人数ではあるが、会議・会合をソーシャルディスタンスを取りながらやり始めていると感じる。
	不動産業	ウッドショックにより木造住宅の高騰が話題となっているが、水戸エリアでも新築住宅の駆け込みが増えている。今後しばらくは購入希望者が減少傾向になり、賃貸需要が上昇傾向になると予測している。
	建設業	高齢者の客が終活の一環として、リフォームや土地の売却を進めている。
雇用	公共職業安定所	A事業所については、新型コロナウイルスの影響でリモートが増加し出張が減り、昨年度からの稼働率は50～60%だが、B事業所の火災により、復旧工事部隊が宿泊のため稼働率は90%を超えることもある。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	昨年度に引き続き、市の支援を頂き、小規模事業者支援としてクーポン券事業を6月1日から11月末にかけて実施している。新型コロナウイルスの影響により販売数を分散しながら当選者への販売を行っている。これからクーポン券事業による消費喚起に期待している。
	スーパー	コロナ禍で内食化と自ら調理する傾向が進んだことにより、スーパーマーケットは生鮮食品や調味料がよく売れたが、惣菜が不振だった。この反動が大きくなっている。 内食化が進んだことにより、簡便料理ニーズに合った冷凍食品やキット型の食品が好調を維持している。
	コンビニエンスストア	自粛ムードのため、客数が減っている。
	衣料品販売店	昨年新型コロナウイルスまん延から売上げはずっと下降している。インターネットでの販売も昨年に比べて悪いが、実店舗の売上げはもっと悪い。
	農産物直売所	購買意欲がない。
	小売業（薬品店）	知り合いの調剤薬局等では、患者激減で閉局したところもある。
	小売業	今だに、イベント事、集まり事が行われる様子がないので、景気が良くなるような雰囲気ではない。
	小売業（書店）	paypay決済で30%バックがあることが大きい。
	洋食食堂	コロナ禍では飲食店が矢面に立たされた。飲食店もしくは飲食する機会が元凶のように扱われてしまった。スタッフ確保に苦心している現場には「飲食の仕事はやらない方がいいよ」と繰り返されているようでとても残念だ。実際スタッフが集まらない。
	日本料理店	相変わらず飲食店に関係するほとんどの会社が悲鳴をあげてる感じだ。政府が何か対策を出さない限り、自力ではこのまま景気が回復しないと声を多数聞いている。
	海鮮料理店	ルールを守って頑張ってきた所はやはり客が理解してくれて、夜は7時頃になると席を立ち始まる。しかし、このようなことがいつまで続くのか、店をやっているのか、不安な日々は続く。
	運転代行	特徴的な動きは特に見られない。景気の回復はまだまだ時間がかかり、期待できないのが現状。一日も早く景気回復を願っている。
	旅行代理店	ガソリン価格の高騰。
	企業	タクシー運転手
クリーニング店		近所のカーテン工場ではホテルなどに納品しているが、1か月前から仕事が午後2時半に終了している。回復するにはまだまだ時間がかかりそうだ。
農業関係者		消費者の購買意欲が出てきたようで、1人あたりの売上げ単価も昨年より上昇した。
製造業（化学工業）		スーパーが買物客で比較的混んでいる。外食する頻度が減っているように見える。
製造業（食料品）		菓子業界は季節的な要因もあってか、客足が少なくなっている。
製造業（食料品）		取引先の東証一部上場企業の話によれば、通勤定期券支給停止やリモートワークの導入によるオフィスの机のフリーアドレス化、新卒採用人数の圧縮等、コロナ禍後の景気回復はいろいろな規制が伴うことによって上昇スピードが緩やかではないか。
製造業（金属製品）		スーパーなど大型店の人流はコロナ前と比較し大幅に減少している。店ごとの変化がみられるがピンチは続きそうだ。製造業などは計画的な生産方式（消費の大きなものに集中生産体制）となっている。
建設業		航空業界に勤める子供が転職を考えている。給料が3分の2に減ってしまったと嘆いている。
運輸業（道路貨物運送業）		金曜日、朝のラッシュ時に車が少ない。週休三日制の会社が増えているようだ。
金融業		世界的なウッドショックの影響を受け、地場の工務店を中心に木材不足が生じており、着工の見通しが立てられない等の事象が発生している。
保険業		地区内に4社のタクシー会社があり厳しい経営をしている。
サービス業		国内の経済状況に対して、コロナ禍とオリンピック開催、米中経済摩擦、日韓外交問題など国際情勢の影響が色濃く出ていると感じるが、年初に比べて落ち着いてきた感じがする。
雇用		人材派遣業
	民間職業紹介業	各企業が日本製鉄の動きに対して敏感。直近は問題ないが、先々、人の動きがどうなるか。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	コメント
家計	家電販売店	生活必需品を扱う店舗はあくまでも状況しだいだが、そんなに落ち込むことはないと思っている。
	スーパー	客のポイント付加に対しての興味が高いことに驚かされる。
	農産物直売所	コロナ禍の中でも食料品は必需品だが、外食ではなく自宅食が多いせいとか米の売れ行きが良い。
	小売業	年配両親を共にした3世代家族での来館も減っていて、核家族で短時間での来館で、一昨年までの滞在型来館が大幅に減少。購買単価も伸び悩んでいる。
	小売業(生花店)	夜の人通りが戻りつつあるように思う。
	衣料品販売店	我慢強い茨城県民はじっとしているが、そのうち爆発するかもしれない。オリンピック開催にかかっていると思う。失敗すれば落ち込むだろう。
	小売業(米穀)	「路上飲み」は都内の事だと思っていたが、当地でもある。居酒屋等の閉店時間が早いからなのか、週末は店頭の自販機のゴミ箱には、ビール等アルコールの缶が山のように捨てられている。
	和食食堂	葬儀にお金をかけなくっている。景気も悪いせいだろうが、時代の流れだと思う。
	寿司店	料飲業の友人と話しても、皆本当に景気が悪そうで、うちだけではないようで困ったものだ。
	都市型ホテル	営業で近郊訪問すると、閉店しているところを見受ける。ホテルパートナー企業も厳しい状況下と見える場面がしばしばあった。同業では、賞与の話題は禁句とされ、休業補償・助成金で雇用確保を第一としている。この業界で賞与が出る事業所が県内で何社あるのかとの話も出ている。
	都市型ホテル	各企業ではテレワーク等で在宅勤務者がとても多くなっている反面、現場に出向いて作業をしなければ仕事にならない業種の会社では人手不足の状況に陥っている様子である。特に機械メンテナンスの会社や設備関係の会社等はとても忙しい様子だと関係者から教えてもらった。
	タクシー会社	年配の方の動きが先月から変わった。倍近くの方がタクシーを利用するようになった。
	サービスエリア	休日のエリアへの立ち寄り増を感じ、バスの利用も少しずつではあるが見受けられる。
	ゴルフ場	ゴルフの安全性とコロナ禍の鎮静化により、徐々に従来の予約状況に近づいてきている。
	ゴルフ場	緊急事態宣言や蔓延防止重点措置が近県で出ており、他県への移動や外出が制限され活気が見られない。オリンピックがすぐそこまで来ているので、ワクチン接種を皆受けられるようにしてもらいたい。
	テーマパーク職員	昨年、数か月前、現在と徐々に5歳～10歳くらいのお子様がいらっしゃるファミリー層が幣施設や他のアウトドア施設(キャンプやアクティビティ体験)への利用率が増えてきているように感じる。また増えているのは今までは「アウトドア」の経験がなかった方に多く、コロナ禍で余暇活動が変わってきているのではと考えられる。そのため、ファミリー層のマーケットが広がり、アウトドアという業種においては、この先景気回復の兆しはある。
	ボウリング場	同じ県内でも地域により人の動きにかなりの違いがあると、他店の方と話をして感じた。蔓延防止策がとられている地域や、クラスターが発生している地域は人の動きが抑制される一方で、夜に店が開いていないのと安心感からか、その近辺地域に人が集中しているような感じがする。
	理・美容店	どんどん、更地が増えている。
設計事務所	住宅資材(木材)の不足と価格の上昇で工事着工の遅れ、利益の減少が見込まれる。	

企業	製造業（窯業・土石製品）	仏事、神事に関する職業の中でも悪化しているのは寺と、葬儀屋。
	製造業（食料品）	店頭売上げと宅配比率では宅配のほうが多くなっている。
	製造業（印刷・同関連業）	今後、政府や自治体には本格的な景気回復につながる政策を行ってほしい。コロナ禍がなかったとしても、消費増税等により経済状況は良くなかったのではないかと思う。コロナを言い訳にせず、経済成長が持続できる社会づくりを考えていかなければならないと思う。
	製造業（窯業・土石製品）	飲食、小売業を営まれている方々の苦労話がさらに多くなった気がする。
	製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスの感染者は減少傾向にあるが、夜の飲食（アルコール）や旅行が自粛されており、以前の状態に戻るのはやや時間が必要。
	製造業（非鉄金属）	人の出入り（離職・中途採用）が多い。
	建設業	当社の決算は4月だが、昨年度は新型コロナウイルスの影響で毎年もらっていたイベント関連の足場工事（夏まつりや花火大会）が全部なくなった。その影響で8月の売上げが半減して持続化給付金がいただけた。決算でも一昨年度の売上げより減少するかと心配していたら10%増になった。零細土建屋にとっては新型コロナウイルスの影響はあまり関係ないのかもしれない。
	建設業	このところ、会議や飲食を共にしての顔合わせが出来ないが、身の回りの景気のことや他社の今後の検討事項など景気の話などすると皆忙しいとかまあまあとの返事。飲食業等は大変だろう。従業員を多く抱えている所など資金的に大変だと思う。正常な生活に戻ればと願っている。
	金融業	コロナ禍による健康・アウトドア志向の高まりを背景に、自転車専用道路「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の利用者は年々増加しており、全線開通以来10万人を超えた。しかし、旧市内を訪れ、市内商店や飲食店を利用するサイクリストは少なく、サイクルツーリズムを通じた地元への消費活動が課題。
	不動産業	新型コロナウイルスの影響により家賃の減額交渉は今後も増加しそうだ。
雇用	民間職業紹介業	50歳代以上の就業希望者が増えた。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	オリンピックどころではない。コロナ禍における消費の落ち込みは田舎になるほど顕著であり、とりわけ年配の方の消費行動が慎重となっている。買物客は減っていきばかりだ。
	スーパー	外食業界の景気回復感を感じている。以前のようなガラガラ状態ではなく、全体的に混雑している感がある。
	コンビニエンスストア	昨年と比べ、昼の時間帯の客数が減っている。
	コンビニエンスストア	週末中心に人の動きが活発になってきているため、飲食店は徐々に売上げが上がってくると思う。また併せて地域によっては今後プレミアム商品券の発行を予定している自治体もあるため、景気は緩やかに回復してくるのではないだろうか。
	家電販売店	夜、コンビニに行くと来店している客数が先月よりも多くなっている。
	農産物直売所	巣ごもり需要が減少している気がする。
	小売業（酒類）	新型コロナウイルス感染者数と反比例で仕事は動いている。一日も早い終息を願う。
	製茶販売	ガソリンや卵も値上がりした。優等生のもやしでさえ値上がりした。しかし、時短、外出制限等で景気が良くなるというか悪くなる一方。去年、国から10万円支給されたが国は回収を焦り、GoToを行い新型コロナウイルスを広める結果となってしまった。ワクチン接種後に今一度国民に支給して欲しい。もらえれば財布の紐も今よりは緩くなるはず。
	食堂	特に特徴的な動きはないが、新型コロナウイルスのワクチンの接種が進めば前の生活に戻れるのではないかと多くの声が多く聞かれる。あと、オリンピックを開催する事に反対する意見も多い。
	和食レストラン	新型コロナウイルスは本当に深刻な問題だ。マスクなしで飲食ができるようにならないと景気は戻らないと思う。
	旅行会社	大多数の業種が厳しい状況の中、存続か廃業・業転か岐路に立たされている小規模企業が多い。
	旅行代理店	燃料代が高くなった。募集をかけても集客がない。座席を1席空けての料金なので今までよりも参加費は高めに設定せざるを得ない。まず、日帰り旅行を重点的に取り入れて、中身の濃い楽しい旅行に専念したいと計画する。とりあえず、広報することだ。
	タクシー運転手	最近、飲み屋のママを乗せても、かなり暇になっている割にはみなさんあまり気持ち落ち込んでいない。やはり、国や県から補償金があるからなのか。しかし、よく迎えに行っていた店が閉店している光景がちらほら見られるようになった。やはり新型コロナウイルスの影響は大きい。早く飲食店が元気になることを心より願っている。
	観光型ホテル	昨年の初めから続いているこのコロナ禍では私共の業界は最悪であり、限界にきていると思う。営業を休止すれば売上げがゼロ、固定費でマイナス。営業をしても一昨年対比で一割にも満たない。ますますマイナス。何をどうすればいいのか、為すすべもない。
	ゴルフ場	交通量は増えてきたと感じる。
理・美容店	近隣小学校の児童数の減少がすごいので将来的に不安を感じる。	
商店街代表者	今までの緊急事態宣言による外出自粛は、県をまたいでの旅行やレジャー、買物に大きな制約となっていたようで、相当な外出自粛疲れが見受けられる。感染者数の減少率が大きくなれば、レジャー、買物等の消費が回復する可能性は大きいと予測される。	
設計事務所	ウッドショックで惨憺たる状況である。	
企業	畜産関係者	家庭内消費も伸び悩み、全体的に消費が鈍っている。
	製造業（窯業・土石製品）	梱包資材等も値上がりがあり、受注数は増えているものの利益は圧縮されてしまっている。今後、様々なものが値上がりする恐れがあり、売価の改定も検討しなければならない状況。
	製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスの影響がマイナスまたはプラスに働くのかは各々の業界で様々、各社各様だと思う。今回のコロナ騒動が葬儀、告別式の形態を変える一助になったことはある意味では良かったのではないと思う。
	製造業（金属製品）	多種に渡り、材料の値上がりが激しく利益が出せない。価格の改定を依頼すると認める客先もあれば、転注の動きをとる客先もある。
	製造業（金属製品）	材料の品薄がかなり仕事にも影響し始めている。
	建設業	ここにきて、材料の入荷が遅れてきている物もある。
	金融業	木材材料が急騰しており、今後一般住宅の価格が高まることが懸念されている。
不動産業	新型コロナウイルスの影響が例年賃貸のピークは1~3月だが、今年は1~5月までピークはなく、ただだらと決まっていた。4、5月は通常より来店、契約が多かった。	
雇用	求人広告	飲食店の空室が目立つ。飲食店は退去し、借り手がつかないテナントが目立ち、町に活気がない。
	人材派遣業	新型コロナウイルスのワクチン接種、給付金、その他事業で市役所での雇用機会が増えている。
	学校就業関係者	高校訪問等々の広報活動が再開し、企業も求人依頼にくるようになった。
	求人開拓員	管内の企業等に関して特段の動きはなかった。